

- ・内容が濃く、拘束時間が長い、かなり疲れる。
- ・内容の理解度、実施会場と日程、支部単位ではなく個人で参加希望できるシステム
- ・内容を理解出来ぬまま時間に追われる場面が多かった。予習するという意味で、資料の事前配布があってもよい。
- ・内容自体は興味深く学ぶことができたが、実際学生実習の場では使用する機会が無い。SGDを行う時間もない。
- ・内容的に研修時間が足りない気がする。また、フォローアップ研修等が必要と思う。
- ・難しい用語が多すぎる
- ・二日では不十分かもしれませんが。また実務実習受け入れ先として稼働してみたらディスカッションしてみたいと思います
- ・二日間は、時間が取れない
- ・二日間は当日の宿題もあり大変でした。
- ・日程がかなりタイトで、量が多い。1泊2日では、理解しきれない部分がある。
- ・日程がきつかった。
- ・日程がタイト
- ・日程が苦痛だった
- ・日程について、2日間はとても有意義だったが、業務を休んで参加というのでは継続はむづかしい
- ・日程を短く、参加費を安くして、指導薬剤師の養成体制を促進して欲しい。
- ・配布資料が多すぎる。持ち帰ってもあれだけのボリュームだと読み返す気にならない。読み返そうと思ってもどこに何が書いてあったのか探せない。用語についても難しすぎる。平易な言葉で「ワークショップだから」という理由だけでわざと難しく言い直している感がある。
- ・発言をせず、眺めているだけの人は排除すべきだと思います。
- ・病院薬剤師業務が中心であった
- ・負担金は大学側でもつべき
- ・分刻みのスケジュールだったが、もう少しゆとりが欲しい。
- ・分刻みのスケジュールのため、すべてが完結しなかったように思います。
- ・毎年同じ内容をおこなっているようですが、少し内容の変化があっても良いのでは
- ・目的がよくわからない。
- ・目標・方略・評価は一般的概要説明より具体的な実務実習例を用いた説明のほうがわかりやすいのではないかと。
- ・問題点についての具体的な対策について、話し合いは出来たとしても、解決するツール、手立てが立てられないので、迷ってしまうことが多かった。
- ・薬学的内容をもっといれてほしい。
- ・薬局参加者主体と病院参加者主体ではテーマに対する理解度がかなり違う。偏った意見がでがち
- ・薬局薬剤師、病院薬剤師、大学関係に分けて具体的なテーマでワークショップをしてほしい。(学生を受け入れるのに同じ環境、問題点などが掘り下げられるから)
- ・薬局薬剤師と病院薬剤師の業務内容が異なるのでカリキュラム内容のより分けて行ったほうが良い。
- ・有意義だとは思いますが、コレに参加しただけで指導できるかと言われると少し疑問が
- ・予習なしの初めての体験で、やっていることの本当の目的、意義がその場ではよくわからないまま時間に追われた点
- ・予習のための資料が事前に配布されていてもよかったかと思えます。
- ・理解よりカリキュラムを消化することが目的のように感じられる
- ・理論ばかりではなく実情に合った事を講義すべき
- ・理論的なことが多くもっと実践的であると良いと思います
- ・略号が多く理解するのに大変だった。

【記述 48】

4. ワークショップ全体について

(3)ワークショップに参加して、改善すべき点、期待はずれだったこと、こんなことをやって欲しかった、こんな情報が欲しかったなど、自由にご意見をお書き下さい。

② 期待はずれだったこと

- ・「学生に手をかけ過ぎ」
- ・9月からの受け入れで8月開催であった為、受入までの準備期間が十分に取れなかった。
- ・DVDを流すだけだった。聞き辛かったので、生の講演であればもっと心に響くのではないと思う。
- ・KJ法にも欠点はあり、様々な分析法での処理を学ぶべき
- ・MR経験者は概ね経験している内容だった
- ・OHPを用いることは時代遅れだ。
- ・WSで重要性・意義は感じたが、対、学生への具体的基準が曖昧なまま終了した
- ・WSの内容が教育方法の専門的なもので、実際の実務実習を行うに当たっては、かけ離れている。
- ・WSはなぜこういう事をクリアしないといけないのか良くわかりません。
- ・あまりに細かくスケジュールが立てられていて時間的に余裕がなかったこと。
- ・あまり実践に應用できなかった
- ・あまり成果を感じられず。
- ・いろいろやったが実習には役に立たない。
- ・お互いの情報交換はできたが、具体的な改善策を実行可能かどうかは見えてこなかった。
- ・カリキュラムの進め方などの具体例がなかった
- ・カリキュラムの組み方も大事だと思うが、もっと実践的な内容のものだと思っていた
- ・カリキュラムプランニングにおいては、薬局薬剤師、病院薬剤師を分け、それぞれ実際に実習するユニットに対し行うべきで、「関係ない、実際に行っていないのでわからない」等の意見が出たのは残念だった。
- ・カリキュラムプランニングやモデルコアカリキュラムの作成に重点が置かれていて、実際、指導する内容の研修がなかった
- ・カリキュラムプランニングユニットが「実務実習事前学習」だったため、薬局での実務実習にあまり役立たなかった。
- ・カリキュラムプランニングを自分で作成して、意義は理解できたが、実際の実習に則していない。
- ・グループにネガティブな薬剤師がいてすべてマイナスに向かうことが多かった
- ・コアカリキュラムの内容が遅れていること。
- ・コアカリの内容が本当に全く理解できなかった。今、学生を受け入れて2年目。この2期で4組目の学生を指導している。その時の学生の資質に合わせて少しでも理解しやすい形になるようコアカリの内容を業務の中でアレンジしたりいろいろな媒体を使って指導したりと工夫している。ワークショップでなにが得られたのかよくわからない。
- ・こなすスケジュールになっていたこと
- ・このワークショップでどのように学生実習に結び付ける具体策、具体例などが無かったこと。
- ・すぐに実習受け入れに役立つと思えない内容だった。
- ・すぐに実習受け入れに役立つと思えない内容だった。実習に何を期待しているのか具体的に示してほしい。
- ・スケジュールがきつすぎて、他の薬剤師の方とゆっくり話ができなかった。
- ・スタッフがまだ経験不足
- ・すべてのことにもっと時間をかけてほしい。
- ・タスクの為のワークショップになっている
- ・タスクの先生方に、もっと具体的に教えていただきたい。一般参加者は当日初めて経験するばかりなので。
- ・タスクフォースの誘導のし過ぎ、しなさ過ぎ

- ・ ディベートやブレインストーミングできると思っていたが、意外と個々の立場や視点からの意見が多かった。
- ・ テーマがテーマ！ 問題定義内容をもう少し実務実習に直接関係する事が少なかった
- ・ デスクワークが多い
- ・ どれもあまり役立ってはいない。
- ・ ビデオ映像の内容が古かった
- ・ ビデオ講義があったこと
- ・ プランニング等は大変有意義ではあったが、一番疲労している2日目の午後の講演は辛い。講演のパートも参加型でできると良いと思われる。
- ・ ペースが速く、もっとじっくりやってもいいのでは？押し込み型に感じた。また末端の薬局では高度過ぎて利用できなかった。
- ・ ほとんどの内容がわかっていることの再確認だった
- ・ まだ発展過程だった
- ・ もう少し具体的な教育方法を教えてほしかった
- ・ もう少し内容が深いと思っていた
- ・ モチベーションの低い参加者が散見されたこと
- ・ もっといろんな先生と意見交換したかった。
- ・ もっと具体的な実習についてご講義があるもと思っていたが全く違っていた
- ・ もっと具体的にやってくれないと、漠然として意味がわからない
- ・ もっと現実的に実習に役立つ情報が得られると思っていた。
- ・ もっと現場に即した概論でないと私にはわかりにくかった。短時間で方法論を詰め込む有用性が理解できなかった。
- ・ もっと実際のカリキュラムなどについても教えてもらいたかった。
- ・ もっと実践的なものかと思っていたが、どう活かせばいいのか分からないところもあった。
- ・ もっと実務にそくしたものだと思っていたがかなり抽象的だった。
- ・ もっと実務実習に沿ったものと思った。
- ・ もっと手早くカリキュラムを組めると思った。他の資料を紹介してもらってなんとか間に合った。
- ・ やっても意味がなかった
- ・ やる気のある人となない人のギャップが大きすぎる。
- ・ より一部の薬剤師だけが興味を持つような情報だった。万人には難しすぎると感じた。
- ・ レポートの内容をチェックされた
- ・ ワークショップでのセッションだけでなく異業種の方のいろんな意見をもっと聞きたかった。座談会的な場というより時間をもっと取っていただければ・・・
- ・ ワークショップでは実習の具体的なカリキュラムに関する内容があまりなかった。
- ・ ワークショップでやったようには実際にはできない
- ・ ワークショップにおいてかどうかわかりませんが、もう少し実技一般のカリキュラムも実施して欲しかった。
- ・ ワークショップの内容が実務実習とどう関連しているのか今でもわからない。必要性が理解できない。
- ・ ワークショップ以外のDVD講習がほとんどがセクハラやパワハラといった同じような内容だったこと
- ・ わかりにくい用語が並び、頭でかちの印象あり。
- ・ 意見交換会以外では、他のグループの人とはあまり交流できなかった。
- ・ 一人の学生を受け入れて できない事のほうが多い事。どこまで伸ばしてやるかは、その薬局の体制による。
- ・ 一部講師による講演内容
- ・ 何をするかわからない状態だったので期待していたことはない
- ・ 何をやっているのか、理解するのが難しかったです。
- ・ 皆さんの知識が少なかったのか、発言しただけだったのか、意見が少なく感じれた
- ・ 概念的なものが多かったこと。ワークショップでやらなくても良い内容があった。
- ・ 概念的なもので具体的な事象に沿っているとは思えなかった。
- ・ 各 SBOsについて教え方や実施の仕方など具体的な指導方法を教えてもらえるのかと思っていた
- ・ 各薬局が独自で考えて実施するためのヒントとなるための研修のように感じた。
- ・ 核心部分を考えさせるというよりも難解な言葉でわかりにくかった
- ・ 学生の顔色ばかり気をつかったり、怒らずに指導しなといけなことがよくあった事
- ・ 学生を指導するのが初めてだったので、具体的に教えてもらえるのかと思っていたが結局自分で書籍を購入する等してキメ細かく指導できるようにした。
- ・ 企業研修に似ていた
- ・ 期待以上のものであった。
- ・ 客観的な内容で指導に結びついたか疑問
- ・ 教育とは？ばかりだった。
- ・ 教育の概念はある程度理解できたが、実務実習でどのように指導していくか等の具体的な内容がなかったように思う
- ・ 教育者の心構えとしては良かったと思いますが、いざ受け入れとなった時には1から準備しなくてはならず、負担が減るものではなかったこと。
- ・ 教育論的な内容がない
- ・ 興味のあるテーマが少なかった。
- ・ 業務実態と直接結びつかないこと。
- ・ 具体性がなかった
- ・ 具体的なスケジュールのたて方がわからなかった
- ・ 具体的な指導内容が聞けるかと思った。
- ・ 具体的な指導内容を教えてもらえるものと思っていた。
- ・ 具体的な指導方法がみえなかったこと。
- ・ 具体的な指導方法などがわからなかった。
- ・ 具体的な指導法の提示がなかったこと
- ・ 具体的な薬局業務、実習カリキュラムと内容が結びついてない。
- ・ 具体的な話が少ない。
- ・ 具体的に使える資料がなかった
- ・ 具体例がほしい
- ・ 形式だけだった
- ・ 結局、実習生が自分の薬局にきたときに何をやるのかがワークショップでわからなかった。
- ・ 現実とのギャップが少しあるように思います。
- ・ 現場のわかる人間が大学に居なさすぎです。
- ・ 現場の指導薬剤師の評価についてあまりふれられていないこと
- ・ 現場の実習に、ほとんど関係なかった。
- ・ 言葉の定義が理解できず、事前に説明して欲しかった。
- ・ 個々のセッションを理解できたが実際活用する具体的な症例も実施してほしかった
- ・ 広範で総バラ的なのが掴みにく感じた、教育用の専門用語やローマ字略号が多用され過ぎにて記憶インパクト弱し
- ・ 行った内容が“実習生を受け入れたイメージ”とは繋がりにくい感じがしました。
- ・ 講義において同じ事を繰り返した事。
- ・ 今まで受けたこと無いような授業をたった2日で積み込まれ、「はい、11週の実習頑張ってください」では無理がある。
- ・ 参加したからといって(2日間だけなので当たり前ですが)指導薬剤師としての力量がつくわけでも、また評価について深く学べたわけでもないこと 極端な言い方になりますが、評価については「適宜やってください」という印象が拭えない 指導薬剤師側は学生の評点ということでもかなり重く受け止めているにもかかわらずそれに答えてくれる所がないように感じる
- ・ 参加した時点でのWSの内容では、実際の実務実習に役立つことは難しい

- ・参加意識の差がある
- ・参加者との食事会の時間がもう少し長く取れるとよかった。
- ・参加者との食事会の時間がもう少し長く取れるとよかった。
- ・参加者の意欲に大きな差がある
- ・参加者の能力
- ・参加者間の意見交流などの時間が少なかったこと。(上記①の改善と連動すると思います。)
- ・指導者としての姿勢に問題があると思われるにも関わらず同じ様に認定されてしまう事。
- ・私のように十分理解出来てない者へのフォローして頂けたら、、、
- ・資料配布が講義後になるので、頭に残りにくかったです。
- ・時間がタイトで、2日目終了後、又何カ月後の情報交換の場がなかった。
- ・時間が足りないので、重要な点を理解できないまま終わってしまう。
- ・時間が短すぎる。
- ・時間の配分がうまくできなかった。
- ・自信がつかなかった
- ・自分の知識で教えるのが前提かと思ったけど、栄養士に講義に来てもらうとか、CDを沢山見せるとかの意見が多かったのが残念
- ・自分の勉強にはなりましたが、実際に学生を指導するのに役に立つ情報はほとんど無かったと思われます。
- ・実際に活用できないものだったこと。
- ・実際に指導していく為のスキルアップの様な内容を期待していた
- ・実際に指導に結びつく内容だと思っていたので、WSを受講すれば指導内容がわかると思っていた。
- ・実際に実習指導をするための具体的な手法が学べるのかと思っていた。哲学だけで終わったのは残念だった。
- ・実際に実務実習には活用できなかった。
- ・実際に実務実習には活用できなかった。
- ・実際に実務実習を行った医療機関の方法、改善点などを詳しく教えてもらえるとうれしかったです。
- ・実際のカリキュラムや評価について、もっと具体的なものだと思っていました。
- ・実際の学生指導に直結した研修と思い参加したため少し戸惑いました。
- ・実際の業務に役立つ内容がなかったこと。
- ・実際の実習にカリキュラムについてのワークショップだと考えてました
- ・実際の実習に活かせるものが予想以上に少なかった。
- ・実際の実習に関連した内容の勉強会だと思っていたが違った。
- ・実際の実習の進め方のモデルケースのようなものをもっと知っていたかった。
- ・実際の実務指導に役立つ内容ではなかったこと
- ・実際の実務実習とワークショップの内容がかけ離れていること。
- ・実際の実務実習に何の役にもたたなかった。することの必要性に疑問を感じる。
- ・実際の実務実習に直結しない内容が多々あるように思った。
- ・実際の実務実習に直接役立つのではなく、イメージの部分が大きかった。
- ・実習が始まっても、内容の変化がなく、マニュアル詰め込みで終わったこと
- ・実習で一番必要な学習方略に関する内容より、実際は指導者が作成する必要がない目標が主体だったため。
- ・実習に関する情報を得られる場所だと思って来ている参加者が多い
- ・実習に直接役立つことより、職場で取り入れたいと思うことが多かった。
- ・実習に本当にこれが必要なのかなかなか理解しづらい事
- ・実習の具体的内容がない
- ・実習の指導に対する思考を変えるには良かったが、実際、実習の進行についての解決策が得られなかったように感じた。
- ・実習の心構えのようなものは理解できたが、実際、実習を行っている時には役に立たなかった。
- ・実習の進め方、評価の仕方の具体的な説明が無かった点
- ・実習の全体像がはっきりしない。
- ・実習の全体像がよくわからなかった。
- ・実習指導に役立つ内容と思われなかった
- ・実務ではなかったところ。
- ・実務にまったく合っていない、概論だったこと
- ・実務実習がどういものかわからないままでの講義、学習だったので理解しづらかった。
- ・実務実習が始まる前でもかなり不安だったのに、WSもそれまでの研修会でも実習内容には一切触れなかったのがっかりした。
- ・実務実習そのものについては、よくわからなかった
- ・実務実習そのものを実感できなかったこと
- ・実務実習で行う実際の実施内容の説明を期待していた。
- ・実務実習で実際に役立つ内容でなかった事。
- ・実務実習とは無関係の内容(宇宙船。)などに、時間をかけたことなど
- ・実務実習について具体的に学生にどの様に教えるのかスケジュールの立て方等、提案があるとよかったと思う。
- ・実務実習に活用できる事は少なく感じた。ワークショップ自体行う意味があるのか疑問
- ・実務実習に際してのもう少し具体的なカリキュラム内容を聞きたかった
- ・実務実習に対してあまりに他人事のような大学の先生方がいらした事。
- ・実務実習に直接関係あることなのか、理解できなかった。
- ・実務実習の指導についての内容について行うのかと思っていたが、そうではなかったこと。
- ・実務実習の内容にそったことをもっと行われると思ってました。
- ・実務実習への不安な点はわかったが、解決にはならなかった。
- ・実務実習をどうやるかを学べると思っていたのに実際に実習に携わるまでは、あまり意味がつかめませんでした。
- ・実務実習内容に即したカリキュラムにしてもらいたかった。全く自信がつかみません。
- ・実用的ではなかった
- ・若い人が少ないように感じた。
- ・主催者側の視線が参加者とずれている。
- ・終わってみると何だか消化することに専念した記憶が大きく残った
- ・食事
- ・新鮮味のないありきたりの内容だった事
- ・真剣にとりくんでない方もおられた
- ・全く役に立っていない。
- ・全員が薬局実習の必要性を感じて、実習に参加しているわけではないということ
- ・他の職場の薬剤師と、もっと交流の場が持てると思っていた。
- ・多数のカリキュラムをどう組み立てどうこなすのか具体的な指導方法がなかった。
- ・大学の先生で、実務実習に対して前向きでない方がいたこと。(実習での訪問でも、ひどい先生がいる)
- ・大学の先生方との交流
- ・大学関係の方が、大学により意欲に差があったこと。
- ・大学教員としての参加者が助手さんで、あまり学校のこと、学生のことを把握していなかったこと。
- ・大学教員と現場との距離感を感じました。
- ・大学側からの要望ばかりだった。

- ・ 大学側の理想が(現場に求めるもの)もう少し伝われば良かったと思う。
- ・ 大人数の前で話すことに苦手なひとの配慮がない。プレッシャーはかなりあった
- ・ 大体わかっているが多かった。選ばれてきている薬剤師が多かったと思うので基本時にまじめだった。
- ・ 誰も製品名や一般名、薬理作用を覚えることの重要性を語らないこと。
- ・ 知識の基礎が違いが大き過ぎて基礎を学ぶには環境が難し過ぎた
- ・ 抽象的すぎて、自分の中で具体的なものとしてとらえることができなかった
- ・ 抽象的な感じがして、実践にどのように役立てるのが分かりませんでした。
- ・ 抽象的な言葉が多く、理解するのが大変だった。
- ・ 統一性に乏しい(最終的に各薬剤師任せになる)
- ・ 到達目標がはっきりせず、ただ漫然と課題をこなしている。
- ・ 討論の繰り返しばかりで、得られたと感じるものがあまりなかった。
- ・ 特になし、有意義な会だった
- ・ 特になし。チームがよかったのもあるが、有意義であった。
- ・ 奈用が難しかったです。SBO等、専門用語が良く理解できませんでした。
- ・ 内容が詰め込みすぎのような気がしました。理解する前に次のテーマに進み整理がつかなかった部分もありました。
- ・ 内容が形式的で、実務に沿っていないと思います
- ・ 内容が浅かった感じがした
- ・ 内容は良いものであったが、実務実習の具体的な研修が受けられると思っていたのがそうではなかった。
- ・ 二日間という長い時間行った割には実際の実務実習に役立つことは少なかった
- ・ 日常業務が繁忙な為、具体的な事例を期待していたので、その点については期待外れだった。
- ・ 漠然としており、実習にどう活かしたらよいか全く想像がつかなかった。
- ・ 病院薬剤師の先生が意外と理解されてないことが予想外でした
- ・ 普段使わない言葉ばかりで、大学目線で勉強会の勉強会という気がして、我々も一緒にやろうという気がおきなかった。
- ・ 物事の考え方としては、役にたったが実際の実務実習にはそんなに役に立たなかった。
- ・ 勉強不足のためか、現場で実習生を教えるためには役立つことが少なかった。
- ・ 保険薬局薬剤師も積極的に参加できる内容にして欲しい
- ・ 方法論だけではなく、もう少し具体的な実務実習のやり方や方法について知りたかった。
- ・ 忙しすぎ、難しすぎた
- ・ 膨大なLSがあるのにそれについての時間がなかったこと
- ・ 模造紙書きがあるとは思わなかった。
- ・ 目的を単刀直入に理解できる方法で、指導されるかと思っていた。
- ・ 薬学実習に沿ったものがすくなかった
- ・ 薬局で学生に、どういう事を教えてほしいとか具体的なことが解かるかなと思ったが、漠然としたものだった。
- ・ 薬局の格差があり当てはまらないことがあった
- ・ 薬剤師として使命感の無過ぎるものが居たこと
- ・ 薬剤師同士の交流時間が短い
- ・ 有意義であるから、何もありません。
- ・ 理想ばかりで現実的ではない部分
- ・ 理想論の言葉遊びのように感じた。
- ・ 理論、方法は分かったが実際の実習に役立つ事かどうか分かりにくかった。
- ・ 理論ばかりで、実際の実務実習についての指導がなかった。

- ・ 理論的な事。抽象的な事ばかりで現実での適応は難しい
- ・ 流れに沿って2日過ごせば、黙っていても資格取得できるという意識の参加者も多かった気がします
- ・ 連携の重要性和意識の共有の重要性はわかっている、他の医療職との連携のハードルが高いこと
- ・ 論点の方向が時々あらかじめわかってしまう時
- ・ 話し合う項目が多すぎる、すべて浅くしか議論できない。

【記述 49】

4. ワークショップ全体について

- (3) ワークショップに参加して、改善すべき点、期待はずれだったこと、こんなことをやって欲しかった、こんな情報が欲しかったなど、自由にご意見をお書き下さい。

③ こんなことをやって欲しかった

- ・ 11週間のプランの立て方等、実際にパソコンを使って皆でやって、「これでどうか?」とか語り合いたかった。
- ・ 1週間、1ヶ月、2.5ヶ月とスケジュールを作成してみることに。
- ・ 6年制の学生が目指している一般的な薬剤師像についての情報をもっとあったらよかったです。
- ・ OTCロールプレイや服薬指導のロールプレイの指導者側としての練習。
- ・ SGDとカリキュラムプランニングを分けて実施し、SGDはその都度グループを組み直してより多くの人と話し合えると良かった。
- ・ S会場で参加者を2つの意見に分けさせて討議させる(ディベート)
- ・ オスキーをみたかった。
- ・ カリキュラム・プランニングの作成方法について学んでも、テキストにはもう出来上がったものがあるのであまり意味がないのではないかと思った。それより、実習生に教育する内容を具体的に教えてもらうほうがよかった。
- ・ カリキュラムの具体例、問題例などを提示してその対策を考えるディスカッションがあればよいと思う。
- ・ カリキュラムプランニングについてのより深い理解
- ・ カリキュラム作成や教育の方法論とは別に、その方法利用した具体的な指導を体験できたらよかった。
- ・ カリキュラム全体を知りたかった。
- ・ グループのメンバーを毎回チェンジしてほしかった
- ・ コアカリの解説
- ・ このLSにはこのように指導する、このSBOsにはこのように取り組むなど具体的な指導方法
- ・ スケジュールの立て方
- ・ その当時は、もっと具体的な情報が欲しかったと感じていました。
- ・ それぞれの薬局にはそれぞれの事情があるのがあたりまえなのですが、それでも画一的なコアカリを達成させるための工夫などの情報交換や解決策を話し合いたかったと思います。
- ・ タスクフォースはGDの進行に意見を言うだけでなく、こちらの質問に2くらい答えてもおもしろい。
- ・ タスクホースの先生方の実体験に基づき話を聞かせてほしかった
- ・ もうちょっと学生実習実務の現実的な問題点などにもふれてほしい。
- ・ もう少しこちらの側の事も考えて、資料を作ってほしかった。
- ・ もう少し実務実習の具体的な方法をやって欲しかった
- ・ もっと、実践に役立つことをして欲しかった
- ・ もっとより実務実習に沿った内容もほしいと思った
- ・ もっと楽しい感じでやって欲しかった。
- ・ もっと具体的な指導方法の例を知りたい
- ・ もっと具体的にカリキュラムの作り方を知りたかった
- ・ もっと具体的に実務実習のスケジュールの組み方や内容の進め方に関する講義

- ・もっと実際の実習に役立つ内容に触れて欲しかった。カリキュラムの内容を解説するとか。その方が指導内容の格差が減り、学生のためにもなると思う。
- ・もっと実践的な、即戦的な学習がよかった。
- ・もっと実践的な内容にして欲しかった。
- ・モデル・コアカリキュラムの細かな説明や実際の実習方法を考えたりするなど、プレ実習みたいなものの方が良い。
- ・モデルコアカリキュラムについて学びたかった
- ・モデルコアカリキュラムの構成内容。これってやるはずだったものなのではないですか？ なんだか全然よくわからないまま実習に突入しましたが・・・
- ・モデルの実習パターンをもとに実務実習の計画を立ててみるとよかった。
- ・より具体的な実務実習内容
- ・ロールプレイをする上での模擬患者体験、在宅や漢方製剤・災害時など少し特殊な業務に関する資料や意見交換
- ・ワークショップに参加済みのかたのワークショップ
- ・ワークショップを提供する側の意図が分からなかった。その点のオープニングガイダンスとか必要では？
- ・医師・看護師・検査技師などの医療従事者から薬剤師に求める事柄
- ・医療人としての薬剤師についてもっとディスカッションすべき。
- ・医療連携における薬剤師の役割。
- ・何故、これをやっているのか、分からない人が多かったので、事前説明が必要？
- ・何故、これをやっているのか、分からない人が多かったので、事前説明が必要？
- ・過去の実習での問題点と対応例の紹介
- ・各ポイントをおさえたモデル指導例
- ・各薬局での不足部分の補充実習等を大学としフォローして欲しい
- ・各薬剤師の職場環境での実習方法についての考え方を紹介し、グループで議論するような時間があればと思います。
- ・学校側で教えている内容を詳しく教えてほしい。
- ・学生が「理解できた」ことがわかる「ものさし」をいくつか教えてほしい。
- ・学生がきたときのロールプレイング。
- ・学生からの希望される実習内容は？
- ・学生カリキュラムがどういったものになるか教えて頂きたかった。(その頃は、テキストも出ていなかった)
- ・学生が行う、実務実習のカリキュラムを使って、多方面から来られている先生方と議論したかった。
- ・学生とどの様に対応していくか、学生の現状について、もっと具体的な内容を含めてできると良いと思う。
- ・学生に興味を抱かせる講義:話し方、構成
- ・学生に実習に対する態度を大学でどのように指導しているかを紹介してほしい。
- ・学生の意見もほしい
- ・学生への基本的な指導法。大学教授の普段学生に対して考えている指導のポイントなどを聴きたかった。
- ・学生への指導の模擬体験がしたかった。
- ・学生を交える
- ・学生を実際に受け入れ思ったが、学生メンタル面への対応法、また、大学側との連携について
- ・学生実習の模擬実習体験みたいなもの
- ・学生実習を受けた経験をもっと聞いてみたかった
- ・患者にどのように接して行くことが必要か、知識ではなく医療人としての心のありかたの指導が必要ではないかと。
- ・既に作成されているモデルコアカリキュラムの詳細解説と具体的な評価基準について。
- ・規定の内容を消化することに専念しすぎて具体例があまり示されていなかったため、後半は具体例をあげて進行してほしい。
- ・教えるにたいしてLSについて、具体的にやって欲しい。
- ・教育ということに慣れていないので、学生への対応の仕方などを具体的に教えて欲しい。
- ・教育に必要な資料などがあれば、それを活用して教えられるので、やり易くなると思います。
- ・教育論、コーチング
- ・業務、実習に直結する内容で(指導、講義方法、確認内容など)を確認したかった
- ・業務に近い内容もあれば
- ・業務を行いつつながらどうやって教育を行うかについてのディスカッションや講演が聞きたかった。
- ・具体的な、指導方法についての実践演習
- ・具体的なカリキュラムの実際について
- ・具体的なカリキュラムの立て方
- ・具体的なスケジュールのたて方を教えてほしい
- ・具体的なスケジュールの例などを指し示してほしい
- ・具体的な指導の方法
- ・具体的な指導内容。
- ・具体的な指導方法。
- ・具体的な指導方法・内容の講義
- ・具体的な指導方法を知らなかった。
- ・具体的な実習の演習
- ・具体的な実習指導の方法に触れるのもいいと思う
- ・具体的な実習内容と教え方、評価の仕方
- ・具体的な内容
- ・具体的な内容も入れてほしい
- ・具体的に、教えるべき内容に関すること。
- ・具体的にどうすればいいかのヒントがほしい
- ・具体的にどのように実習を行うかをワークショップで考えてみたかった。
- ・具体的に実習生に教えていく内容の解説もしてほしい
- ・具体的指導のシミュレーション
- ・具体的調剤過誤の防ぎかた。Etc
- ・経験が豊富な指導薬剤師の方との意見交換
- ・研修内容を未経験者に秘匿する必要は無い。もっとオープンにすべき。
- ・現在の学生の様子が変わらない。学生も参加型。
- ・現在の薬学教育の問題点について話し合ってもよかったかも←まとまらないので、やらなくていいです。
- ・現実の仕事をやりながらの設定でどうしたら良い？という話し合いをしたかった
- ・現場ですぐに活用できる事をお願いしたい
- ・現場での教え方が難しい項目について、具体的な方法の提案もしくは体験型で見せてほしい。
- ・現場での具体的な指導方法もシミュレーションでわかりやすく教えていただきたかった。
- ・現場での具体的な指導方法もシミュレーションでわかりやすく教えていただきたかった。
- ・現場の薬剤師と大学教員、それぞれの意見のすり合わせ。方略や評価についての基準が一致していないので。
- ・現場の薬剤師の業務内容が学生の模範になっているか不安に思いつつ指導した。指導薬剤師が個々に努力するべきだとは思いますが、教えることが幅広く、現実的には指導に苦慮する項目もある。県によっては薬剤師会が作成している
- ・現状で満足。
- ・現状のままで満足です。
- ・個人薬局では、薬剤師の負担が相対的に増大するため、もう少しマニュアル的な研修があれば良かったのではと感じる
- ・後発品の選定なども取り入れてほしい。
- ・語句の意味を最初に具体的に説明していただきたい。
- ・国家試験の問題の公開(来年度から)
- ・今のままで問題なし
- ・今時の薬学生の気質みたいなものが分かれば、今後の不安

- が少し和らぐと思います。
- ・ 最近の学生の考え方や行動などを教えて頂けると助かります。
 - ・ 最新の大学での薬学教育内容を教えてほしいかった。
 - ・ 在宅や薬業連携に関するテーマ
 - ・ 指導する内容ややり方がある程度示せる内容であって欲しかった。施設によって差がありすぎる。
 - ・ 指導の経験者からの体験談、苦労話し。
 - ・ 指導者としての教育的な講習をして欲しかった。
 - ・ 指導者と学習者の実習現場でのシミュレーション
 - ・ 指導内容、レベルの統一化
 - ・ 指導内容に薬局間の格差の無いようにしてほしいかった
 - ・ 指導方法の実際(具体例)
 - ・ 指導薬剤師が教育者としての自覚を持つような講演
 - ・ 指導薬剤師の実習生への接し方についてOJT研修のような内容のものがあると良い
 - ・ 指導薬剤師の体験談が聴きたかった。
 - ・ 指導薬剤師間での交流がもっともてればいいのと思います。
 - ・ 資料配布後、“予習”と“準備”の時間設定が欲しかった。
 - ・ 事前にある程度、カリキュラム内容を分かる形で教えて欲しかった。
 - ・ 事前実習での問題点の提案(たとえば1期で来た実習生は学校では分包機にあまり触れなかった、と愚痴を言っていました。)をしてもらい、それについて解決策を提案するなどしてはどうか？
 - ・ 時間がタイトで、2日目終了後、又何カ月後の情報交換してほしいかった。
 - ・ 時間がもっと必要だと思いました。
 - ・ 自己紹介の場がほとんどなかった
 - ・ 自習内容の具体的な説明
 - ・ 自分にとっては、今回のWSの内容で十分すぎるくらいだったが、今後、認定指導薬剤師ではない実務実習指導の経験のある参加者が増えてくると、(現場力があっても)人を育てるという基本的な考え方を習得して、地固めを目的とするような内容のWSがのぞまれるのかもしれない。
 - ・ 実際にカリキュラムを組む作業や1週間の計画を立てる時など、ワークショップの内容からでは分かりにくかったです。
 - ・ 実際にコアカリに含まれる範囲で、学生に教える内容をそのまま講義などしてほしい。
 - ・ 実際には、実務実習は業務と並行して行うため、同じ形式ではできない。本来行うべきことも大切だが、時間がない中でも行える手法もあわせて行ってほしい。
 - ・ 実際にはどのように実務実習を進めているのか、具体的な経験談も聞きたかった。
 - ・ 実際に学生に行う指導内容での指導方法を実際に指導していただきたかった
 - ・ 実際に行う実務実習の各LSについて、どのように取り組めばよいか？指導してほしいかった。
 - ・ 実際に実習で何をを用いてどんなに教えるか。
 - ・ 実際に実習を受けたことのある学生の参加(意見が聞ける)
 - ・ 実際に実習生を受け入れはじめて、いろいろな問題点が出てきていると思うので、そのデータをもとに、対応方法をグループで検討したりする。
 - ・ 実際に実務実習で、どのようなことをすればいいのか、各LSに対しどのようなことをやればいいのか、具体的な例を教えてください。
 - ・ 実際に実務実習を行うにあたって、実際に起こる色々な場合を想定した研修をする方が良いと思った。
 - ・ 実際に受け入れた事のある指導薬剤師に意見を聞く場をつくってほしいかった。
 - ・ 実際のカリキュラムプランニング
 - ・ 実際のプランニングの練習
 - ・ 実際の学生(模擬実習生)とのロールプレイング。
 - ・ 実際の学生の意見。具体的な事例での評価の付け方。
 - ・ 実際の学生を参加して貰い、学生の事前学習報告など有っても良いかと。
 - ・ 実際の業務に役立つ内容をお願いしたい。
 - ・ 実際の指導の仕方のロールプレイ、スケジューリングの仕方
 - ・ 実際の指導内容に則したものであって欲しかった
 - ・ 実際の事例を活用するようなもの。
 - ・ 実際の実習がどのように行われているのかを教えてください。
 - ・ 実際の実習に則した、問題点の対処法、実習法の手引き、などを具体的な事を取り入れて欲しい。
 - ・ 実際の実習の進め方のモデルケースのようなものをもっと知りたかった。
 - ・ 実際の実習の方法
 - ・ 実際の実習項目を1つでもいいので具体的に実践みてはどうかと思う。
 - ・ 実際の実習指導の手法
 - ・ 実際の実務実習で予想されるトラブル
 - ・ 実際の実務実習に沿った内容をもう少し取り入れて欲しかった。
 - ・ 実際の実務実習に直結する研修
 - ・ 実際の実務実習のプランニングを取り入れて欲しい 過去のプランを例に改善計画を検討等
 - ・ 実際の実務実習生の受入れに際し、もっと具体的なアドバイスが欲しいと感じた
 - ・ 実際の到達目標について習得のさせ方を教えてください。
 - ・ 実際の評価事例が欲しかった。
 - ・ 実際実習で教えるべきLSの講義があつてよかったのではないかと、災害時のLSなどは体験者の講義などを聞いて実習に生かしたかったと思う
 - ・ 実施しにくい項目についての対応
 - ・ 実習として薬学生が全国どの医療機関に行っても、最低限これは教えてほしい、というようなラインを、もっと実習に即した内容を行ってほしい。
 - ・ 実習による問題点。教育としての大学の考え方と実務薬剤師の認識の違い
 - ・ 実習に即した問題を使ってみていいのでは
 - ・ 実習のカリキュラムについて、具体的に大学側が期待していることなど聞きたかったです。また、大学でどこまで教えているのかなども聞きたかったです。
 - ・ 実習の具体的な内容がない
 - ・ 実習の内容についての具体的な説明をしてほしい
 - ・ 実習の模擬を一日ほど入れてみていいのでは。
 - ・ 実習現場で即使える内容。
 - ・ 実習現場への落とし込み方法
 - ・ 実習指導に直接役立つ内容
 - ・ 実習時に指導しにくい内容に関する項目。薬局製剤、漢方製剤、在宅など。
 - ・ 実習手技など
 - ・ 実習生の事前学習
 - ・ 実習生の受け入れを薬局の業務改善に生かして薬局のレベルアップをはかるきっかけにする検討
 - ・ 実習生や、大学関係者、指導薬剤師の生の声。
 - ・ 実習内容で教える内容、評価の細かい仕方など薬局間の差をなくす均一化に関する内容
 - ・ 実習内容に則したシミュレーションをやってほしい
 - ・ 実習方法についての考えや意見を話し合いたかった。
 - ・ 実践的な指導方法に関する内容
 - ・ 実践的な評価方法を入れていただけると助かります。
 - ・ 実務実習
 - ・ 実務実習カリキュラムの実際の説明が欲しかった
 - ・ 実務実習でどのように指導していくか等の具体的な内容

- ・実務実習での成功例、失敗例を知りたかった
- ・実務実習で教えにくいLSの指導方法について。
- ・実務実習に具体的に直結するWSもありかと
- ・実務実習に係わる全ての薬剤師の資質向上と、実務実習に対するモチベーションを維持していくため教育の重要性への討議
- ・実務実習に役立つような具体的な内容を取り入れてほしかった。
- ・実務実習に役立つような具体的な内容を取り入れてほしかった。
- ・実務実習のコアカリキュラムに則した内容にしてほしい。
- ・実務実習のプランを立てるにあたって、もう少し具体的な内容をディスカッションできたら良かったように思えます。
- ・実務実習の具体的に「準備すべきものなどや実際の実務実習の進め方。
- ・実務実習の内容にそったこと。
- ・実務実習をするにあたっての注意点。最近の学生の傾向など
- ・実務実習指導テキストの具体的な内容にも少し触れてほしい
- ・実務実習指導薬剤師を養成する為のカリキュラムとしては理解出来たが、実際の業務と擦り合わせると合致する点が少なく思える。実務内容まで踏み込むと2日間ではどうにもならないとは思いますが、実際の現場でより効果のあるスモールディスカッションは良かったと思います。
- ・実務的なことを講演して欲しい。実習で役に立つ情報が欲しい。
- ・社会見学
- ・上司から何も(ワークショップであることも、内容も)聞かされずに参加。今思うと事前の配布資料、目的などを知った上で受講したかったと思います。再度より深く学びたいと思います。
- ・色々な内容について議論できるとよかったです。
- ・総括評価の全国的普遍性(指導薬剤師によつての厳しさ、甘さの是正)
- ・他の職場の薬剤師との情報交換の時間を夜だけでなく、昼間も取り入れて欲しかった。
- ・他施設での実習受入の体験談や工夫を聞きたい。
- ・他施設での実習受入の体験談や工夫を聞きたい。大学教員の話。
- ・多様な「薬局実務実習における11週間のスケジュール例」が欲しかった。
- ・体験型のような研修(実習生と指導薬剤師役での)を行ってほしかった。
- ・大学でどこまで実習の実技を教えているのを知りたい。
- ・大学で行っているロールプレイ
- ・大学の教員と現場で実習を受け入れる薬剤師との意見交換が、議論できる場が欲しいと思った。
- ・大学教育者が、現場で実習されることを望みます。
- ・大学職員の参加人数がもっと多くてもいいのでは。
- ・大学側の要望、どのようなものを期待されているのか
- ・地域対応実習の具体例など教えてほしい
- ・直ぐに役立つようなカリキュラムの日程作成や実習の資料プリント、ロールプレイの実例集など手引き書的な内容。
- ・当時はまだ実習が始まらなかったのでは仕方がないが、もっと現場に合った具体的な内容にして欲しかった。
- ・当薬局で出来ないと思われる部分をどうフォローがあるのか具体的に早めに教えて欲しかった。ずっと出来るのか不安なまま実習が始まった。
- ・到達度のチェック・評価の指標に関して重点的に取り組んだ方が実務の役立つと感じた
- ・内容が濃く、とても有意義だった。しかし一夜漬け同様、忘れてる事も多い。振り返りのWSがあれば良いと思う。
- ・内容は十分だったと思います
- ・年配薬剤師の再教育
- ・評価者として、自分が正しく評価できているのか否かを確認できるような講義もあると良いのではないかと思います。

- ・病院と薬局が継続して指導を行えるようなシステムの構築
- ・病院と薬局の施設ごとに分かれて本来行うべき実務実習内容について討議したかった。
- ・服薬指導でのプログラム作り
- ・方法論だけでなく、もう少し実務に即した具体的な指導方法など
- ・法規を基に、薬剤師としての倫理観を高めるべき。
- ・万人にもわかりやすいテーマ・内容では決まてないので(薬剤師にも知能の幅があるため)、より興味を持てるテーマの方が良いと思った。
- ・満足です
- ・模擬実習。・・・をして欲しい事、具体的にこんな事を中心に教えていくといい。など
- ・薬学教育6年制改変のメリット(及びデメリット)を考察し、目標レベルの薬剤師の育成に対する問題点と改善事項は？
- ・薬学教育の問題点について学ぶときに、学生の意見も聞いてみたかった。
- ・薬学実習に沿ってのものを多くとり入れて欲しかった
- ・薬局指導者と病院指導者それぞれのディスカッションの場
- ・優秀でない学生に対する指導の仕方を教えて欲しかった。
- ・理想と現実の差を縮めるための話し合い
- ・例えば、最近のウレチド事件などを取り上げ、討論。改善に対する抵抗と方策を検証

【記述 50】

4. ワークショップ全体について

(3) ワークショップに参加して、改善すべき点、期待はずれだったこと、こんなことをやって欲しかった、こんな情報が欲しかったなど、自由にご意見をお書き下さい。

⑤ その他

- ・「KJ法」と「問題点の対応」を続けて頂いた方がより早く理解できたと思います。
- ・1~2名で行える方法の提示
- ・①②③を考える間もなく 充実とハードなスケジュールでした
- ・1施設1人の認定薬剤師では、十分な指導は難しいと感じているため、複数人認定出来る様に開催して欲しい。
- ・1日目のスケジュールがハードであり、課題と懇親会があったのが厳しかった。
- ・1日目の評価の項目で、ニーズに合っていたかと問われ違和感があった→何のために参加するのか知らなかったから
- ・2日間、目一杯の内容でかなりハードでした。もう少し、考えたりする余裕があればなあ、と。それが狙いでしょうが・・・。
- ・2日間で内容が多く、充実していた
- ・2日間の時間では詰め込み過ぎ。もう少し、ゆとりが有るべき
- ・2日間続けての参加以外の方法を検討して欲しい
- ・2日間討論の連続でだんだん思考力が低下してしまっただ。
- ・2日連続ではなく、週を分けて実施して欲しい。
- ・4年以上経過してるので、あまり覚えてないのが現状です。プレボストアンケート、PNP、孤独なカードは、参加以来利用しています。
- ・6:2:1を見直して、いろいろな方とディスカッションがしたい
- ・6年制の始まる大分前に参加したため、内容が忘れてしまい生かし切れていないのがもったいない。
- ・CBT、OSCEの内容について。どれくらいのレベルで研修に臨んでいるのか分からない。
- ・OTCの分野もやって欲しい。
- ・SGDを知らない人とやって、勉強になった。
- ・WSが指導薬剤師に必須とは思えない。指導薬剤師には定期的な継続研修 etc...を求めるほうがレベル維持になると思う。
- ・WSだけでは理解できないし忘れる、実際とのすり合わせができない。

- ・WSで学んだことを生かすためには、何度も何度もWS形式への繰り返し参加が必要であると思った。
- ・WSという形式は大事だとは思いますが、現場の薬剤師はもっと実際の実習を進めるにあたっての具体的な訓練を求めているように思います。
- ・WSを受けやすい環境が整うとよい。コスト、マンパワーから開催回数が限られる点が問題。
- ・WS形式は初めてだったので、なかなかスムーズに出来なかった。もう一度行えばよりの確に行えると思う。
- ・いちいち学会で発表するためのなのか ナンセンスなアンケートはやめてほしい。
- ・いろいろな職種の方でグループを構成していたので、それぞれの立場での考えが聞いて有意義ではあったが、実務実習の指導にいかすという意味では、薬局薬剤師の立場から言うと、もっと薬局での実務実習の内容を取り入れたものでもよかったのではないかと思います。
- ・お手伝いについてくださった方たちが、大変すばらしかった
- ・カリキュラムが多すぎではないか？2.5ヶ月では厳しい。
- ・カリキュラムの成り立ちについては理解することができたが、実際の実務実習の現場での有効な活用の仕方がわからなかった。
- ・カリキュラムの立案等役に立ったが、数多いカリキュラムに対しては現実的ではない内容だった。もっと現実的かつ具体的な内容を学びたかった
- ・グループにもよると思いますが、活発に意見が飛び交い、多職種の方の意見も聞き、有意義でした。
- ・コアカリキュラムではOTCカウンタ実習が重視されているが処方調剤でも実践できるはず。小規模薬局の実情としては、このように考えて実施せざるを得ない調剤薬局が多かったはずである。また、これを十分に補えるOTCに強い薬局が少ないのも現実と思われる。薬局カウンタ実習をどのように行うのかについて、もっと議論が必要ではないか。
- ・このWSが、将来的にどんな効果をあげるか？は、全く想像がつかないが、いろんな分野から、いろんな経験の薬剤師を集めているので、まず、各自の職種や立場における意識改革のきっかけになれば、実施または参加した価値があると言えると思う。SGDの後、他のチームを言い負かすことに情熱を注いでいるような傾向のチームがあったが、ディベートをしている訳ではないので残念だった。お互いに、いいPRODUCTを出せたかを評価し合う討論であってほしかった。
- ・このWSの目標を目の前の課題をこなすのに精一杯になってしまいWS中に見失うことがあった。
- ・スケジュールがハードだったので少し余裕がほしいと思いました
- ・スケジュール的にハードだった。
- ・スモールディスカッションの同じグループ内に2人以上の同じ職場のメンバーが入らないように配慮してほしい
- ・タスクフォースを5~6回やらせてもらったが、少し内容を改善しても(テーマなど)良いと思います
- ・タスクフォースをさせていただいて理解が深まりました。タスクを経験できる機会を増やしてほしいと思います。
- ・とてもハードでしたし、難しかったです。参加するだけで精一杯でした。
- ・とても内容が濃く、ある程度の理解はしましたが、実務実習においてそれらを活用しきれませんでした。
- ・とにかく、2日間 疲れた。
- ・とは言え、参加者の話は楽しい
- ・どんな資料をつかうといいか という事を教えて欲しかった
- ・まず、指導出来る人材が施設なのかを判断してからワークショップに参加させるべきである。
- ・まる2日間参加してとても疲れたのは覚えているのですが、内容があまり思い出せません。申し訳ありません。
- ・もう少し、ディスカッションできる時間と項目が欲しかった。
- ・もう少しリラックスした雰囲気の方が柔軟発想ができるのではないかと？
- ・もう少し理解できる時間が欲しかった。
- ・やっていることは、他業種の社員教育と同じだが、専門用語が多く馴染めない。
- ・ワークショップから実務実習までに時間があき、色々と思いつくのが大変でした。これは仕方無かったと思います。
- ・ワークショップの意味を最後まで理解できない方々とのやり取りに少し疲れました。
- ・ワークショップの回数が少ないため複数の指導薬剤師が施設につくれない。
- ・ワークショップの効果が出せないで、来年度からは実習受け入れを辞退したい。
- ・ワークショップの資料や内容を実習施設内のスタッフと共有することを推奨していく必要がある
- ・ワークショップの場は貴重なので継続して欲しいです。
- ・ワークショップの同じメンバーで実務実習体験後の情報交換会を希望します。
- ・ワークショップの同じメンバーで実務実習体験後の情報交換会を希望します。
- ・ワークショップはあまり必要ないと思います。
- ・ワークショップは重要であると思います。今後の実務実習指導に”教育(知識・技能・態度)”について一部参考にして、取り入れていきたい。
- ・ワークショップを受けたのが随分以前なので忘れてしまったことが多いです
- ・ワークショップ後、実習生受入まで期間があったのでモチベーションが下がった。
- ・ワークショップ参加が2年前なので、具体的には回答しにくい。
- ・ワークショップ参加から実際の実習受入まで期間があき過ぎてしまった。
- ・ワークショップ参加者の定期的な情報交換会があるといいと思います。
- ・ワークショップ参加中、分刻みの時間割になかなか慣れるのが大変だった。
- ・ワークショップ受講から実務実習が始まるまでが長かったので内容を忘れてる部分が多いです。
- ・ワークショップ受講から約2年経っており、細かな内容についてはハッキリしないところもある。継続的な研修の機会を作ってほしいと思います。
- ・ワークショップ会場まで遠かった。
- ・英字が多く、日本語に咀嚼が不十分だった
- ・遠方からの参加者もいるので宿泊施設(近隣のホテルなど)の情報もあればありがたかったと思います。
- ・何もわからずに参加して、理解できぬうちに、時間で押されあわただしかったです。
- ・何をやるのかわからないまま参加したため、効率的に内容を充実させるのが不十分のまま終わってしまい反省した。
- ・開催側の自己満足的な印象を受けました。開催者側の指導薬剤師に教えたい事と、指導薬剤師の学びたい事にギャップがある様に思われます。
- ・学生に共通の確認テストなどがあれば、便利だと思います。
- ・基礎(基本)を把握しておくべきと思うが、現状とのギャップが気がかりです
- ・基本的に「しゃべれない薬剤師や知識のない薬剤師」は今後必要ないと思った。
- ・希望者全員がワークショップに参加できるようになるとよいと思います。
- ・徐々に大学教育に触れて、業務とは違う新鮮さがありおもしろかった。
- ・教育というものは、こういうことかと思ったが、実際にしていると言えれば出来ていない。難しい
- ・教育について正式に学べた事は大変有意義でした。より深い

- 内容も学ぶ機会があればと思います。
- ・教育に対する意識の変化は理解できたが、具体的に実践することは難しいと感じた。
 - ・教育実習などにおいて、教育の専門知識を得ている薬剤師はワークショップを免除しても良いのではないのでしょうか？
 - ・教育者(教授等)でない一薬剤師なので、2日間のワークショップによる学習では難しすぎたと思われた。
 - ・教育者の立場になる上でプランニングを体感することは重要だとは思いますが、2日間は長すぎる。2日も掛けるなら、もっと実務的なことを盛り込むべき。
 - ・教育論としてワークショップは非常に有意義だった、という記憶があります。
 - ・継続的な短時間の研修会のほうが有効なのは？
 - ・現在のワークショップは改善されとても良くできていると思う
 - ・現場で働く薬剤師、全員がワークショップへ参加できていれば、より良いかと思えます。
 - ・言葉の難しさ・理解の難しさを感じている
 - ・個々で意欲(参加姿勢)の差が大きかったと思われる。
 - ・個人薬局を経営する立場からは、患者さんの風評はとも気を使うことです。調剤に時間がかかったり、応対が悪いなど言われぬように事前実習の内容など学生のレベルをもっとアピールしてほしかった。ワークショップですべきかは解かりませんが、固定概念を覆すほど印象付けるにはワークショップが最適だとも思います。
 - ・後発品に変更することで薬局の売り上げ減などにもついて
 - ・講演内容が一般的で同じ事の繰り返しのような気がしました。
 - ・今後、参加者とは別にオブザーバーとして参加可能枠の検討。
 - ・今後、薬局と病院での実際で行われた、それぞれの実習内容をカリキュラムへフィードバックしていく。
 - ・今頃アンケートされてもあまり記憶に残っていない。
 - ・懇親会が本当に必要かわからない。参加者同士でなく、参加者と開催側との懇親を期待されているのなら、実質ほとんどできていなかった。参加者同士は昼食などで充分会話はできていたように思う。
 - ・細かい時間制限の中に多くの内容が詰めこまれていて大変だった。
 - ・参加したことで、実務実習に限らず、さまざまな場面での目標達成や解決法を導くのに役立つ気がする
 - ・参加したのがずいぶん前なので、最近の内容と同じなのかわかりません。
 - ・参加してあーそうだったと理解するまでに時間が必要だった。
 - ・参加してよかった。
 - ・参加型でおもしろかった。
 - ・参加型の研修スタイルは連帯感が生まれ達成感が得られて有効だった。その後の地域での活動でもその際の関わりから繋がりができた。
 - ・参加資格が不明瞭。薬剤師会の役員が優遇され、一般の会員は参加が困難。
 - ・参加大学によって内容(質)に差がある。複数の薬科大をかかえている県の方が内容が良いように思われる。
 - ・参考テキスト作成
 - ・指導、教育する上で必要な概念だとは思いますが、もう少し現場ですぐに使える具体的な事もやっていただきたい
 - ・指導してみてもはじめて何を意図しているのかよくわからないSBOsにあたりたりする。カリキュラムの見直しにつながるように現場の声をすくいあげてもらえる場がほしい。
 - ・指導の先生方の、熱意を感じられた。少しでも、後輩の役に立てればと思いました。
 - ・指導の枠組みは理解できるが、実際現場でその手順を踏んで評価できるかは疑問に残った。
 - ・指導薬剤師が自分でカリキュラムを作ったり資料を用意することはかなり難しいと思う。ワークショップでの体験は、知識として

- は必要だと思うが、実際に学生を受け入れるにあたり、日経BP社で発売された「薬局実務実習指導パーフェクトマニュアル」を活用した。
- ・指導薬剤師としてモチベーションを上げることはできたと思えます。
 - ・指導薬剤師をつくるための単なる人集めになってはいけなく、受講者の意識を高めることが必要と感じました。
 - ・施設によっては全てのカリキュラム内容がしっかりと実施出来ないケース(学校薬剤師や薬局製剤等)もあると思うのでそういったものは地域で集団指導のような形をとれば指導内容の差が生まれず良いのではないのでしょうか？
 - ・私にとっては、初めてのワークショップであり、よい刺激をたくさん受けました。問題点は見当たりませんでした。
 - ・私は中心となるリーダーにお任せして 発表したり 自分の意見を言ったりすることは無かった しかしワークショップでは通用しなかった その点はかなり違った
 - ・私自身の理解が悪いのだと思いますが、実務実習とのつながりが理解できなかった部分もありました。
 - ・事前に内容がわからないので期待できない。事前に希望などをとったらどうか
 - ・事前情報が無く、折角の内容の理解に戸惑った。
 - ・時間におわれ、よくわからないうちに過ぎてしまった。
 - ・時間に制限があり、理解が追いつく間もなく進んでしまう項目もあり、強行スケジュールだったと思う。
 - ・時間に追われてハードだったので、もう少し余裕を持ってして欲しかった。
 - ・自分たちに経験が少なくもたついた
 - ・自分の考え方の偏りなどを感じることがありました。自分を客観的に見られる良い機会だったと思えます。
 - ・自分の勉強不足もありましたが、開始後全体像が見えにくくて把握するのに時間がかかった。
 - ・自分の理解力が足りなかったのかもしれない。短期間で行なうには簡潔な分かり易い説明が欲しかった。
 - ・自由に発言できる雰囲気ではなかったため、気後れしてしまっただけで、もっと有意義に過ごしたかった。
 - ・実際に学生を指導する薬剤師の参加が望ましいと思えます。
 - ・実際に学生を受け入れる前のWSなので、具体的な実習とWSが結びつかなかった。一度受け入れた後でさらなるWSがあるとよいと思う。
 - ・実際は、SBOの講義時間の設定通りには進まない。
 - ・実習を県や市の薬剤師会でサポートしてほしい
 - ・実習時に実際に行くことと、WSで学んだことが直接結びつき辛く、WS終了時点では具体的なイメージが浮かびにくかった。具体的にどのような準備が必要かが分かりにくかった。
 - ・実習受け入れ経験の薬剤師より、現場の状況を聞くことが出来たことが一番役に立ちました。
 - ・実習準備が全くできていないことが確信できた。
 - ・実習生を受け入れる不安が大きくなった。
 - ・実務実習がすでに始まっている状態で受け入れれば開催する側も、問題点を集積して、より実務実習に即したワークショップが出来るのではないかと、感じます。
 - ・実務実習が始まっているので実習を終えてからの指導薬剤師、実習生双方の感想が聞いてみたい
 - ・実務実習が始まるまでまだ時間が有る時期だったので、すぐに役に立ったとは言えない。ただし、参加型の研修はすぐ面白いと思ったし、このWSに参加した薬剤師の意識は必ず変化すると感じた。
 - ・実務実習に生かされるといいますが、難しいと思った。
 - ・実務実習に役立つかどうか疑問ですが、非日常の実習で刺激にはなりました。
 - ・実務実習の具体的なイメージがないまま参加してしまい、よく内容が理解できなかった。とても残念なことをしたと思う。
 - ・実務実習を受けた各薬局や病院での、現状報告の意見交換

をしてさらに良い実習が出来る様に出来た方が良い。横の繋がりが少ない。

- ・実務実習指導薬剤師として最低限知っておかなければ薬学的知識、技能の提示。
- ・実務実習指導薬剤師認定をする時の煩雑さは異常です。
- ・受け入れ施設として負担がかかる上に、給与もあがらず、負担金まで発生しては、更新する気になれない。
- ・終了時の達成感はありません。
- ・充実していましたが、缶詰状態で長かった。
- ・宿泊するほどでもない程度の遠方から参加した者にとってはレポート作成や懇親会などは時間的な余裕がなく辛かった。
- ・順々に課題をクリアしていくと最終ポイントまで到達できるようなカリキュラムとなっていたが、実習受講者には最終到達点が明かされていないので、課題を求められている形で解いているか不安があった。
- ・初めての経験で比較対象ができません。
- ・初めて聞く言葉が多くてよく判らなかつた。こちらの勉強不足がよく判りました。
- ・初期の頃のワークショップだった為、その意義が理解出来ないまま参加した。参加前に何故行うのかの事前学習が必要であったと感じる
- ・上記内容より、研修を受けてから数年が経過しており、ほぼ忘れてしまっていることが多い。
- ・申し訳ないですが、正直なところわけがわからないまま終わりました。つかみどころがなかつたです。
- ・人を評価するのは難しいです。学生の自己評価と指導者からの評価に差があるとき、学生の人格否定にならないように話せる力が必要と思いました。
- ・制限時間があるのはいいが意見がまとまらない場合も多く発表が途中になってしまったことがあつた。
- ・専門用語や略語の連続は内容を理解する上では妨げになってしまう。
- ・前のことであまり覚えありません
- ・前もってWSでどんな内容のことをするのか、知らせていて欲しかった。
- ・前もって知識がなかつたので、ある程度の内容を把握した上で参加できたら良かった。
- ・全くの薬局業務の方に病院での設定での問題提起はその後活かさない可能性もありモチベーションの低下にもつながるとおもつた。逆の場合も考えられるため、一緒に行うのであれば、病院、薬局の枠を外せるような内容のもので行える t びよ井と思つた。
- ・全てが初めての経験で、新鮮でした。ただ消化吸収して自分のもののできていない現状があります。
- ・早期にワークショップに参加していながら、未だに実習生を受入していない施設が多数あることは問題だと思う。
- ・他の薬剤師との交流、意見交換は出来たが、果たして終了後にWSの内容を思い出すことがない。WSに参加したという実績だけが残り、それが実務実習に生かされることがほとんどない。つまり指導薬剤師の資格取得にWSへの参加が必要なだけであつて、WSの内容が実務実習に必要なわけではない。薬局での現場がコアカリの通りに行われているわけではないから。
- ・他の薬剤師と意見交換ができる場、グループで作業をするのは大変勉強になりましたが、実務実習にそれをどう生かして行くのか、よくわかりませんでした。
- ・大学教授、病院薬剤師とお話ができ、教育の現状や現場の意識の格差など知ることができたのは有益だった。
- ・大学職員がこれを行う意味が分からない。実習を進めるのは現場。
- ・大変でした。
- ・沢山のサポートの方が居られ、お世話になりました
- ・沢山の方たちの熱い思いが分かり、モチベーションは上がりました。それでいいのでは？

- ・単に指導薬剤師の資格取得のためのワークショップではなく、さらに発展させるべく時々情報通信があるべきだと思う。
- ・段取りが悪かつたせいもあるのですが、ずっと時間に追われている気がしてました。せっかくだらうところからきているのでもう少しコミュニケーションを図る時間があればと思いました。
- ・知識・技能・態度が想像以上に出来ていない場合の対処法・評価法
- ・地域により参加できる人数に偏りができるので、もう少し公平にしてほしい。
- ・抽象的な内容で、その場では？だったことも、現場でやってみて理解できたこともあつた。
- ・調剤実践とドラッグのカウンター実践はコース分けて実習項目に取り入れるのはどうか？
- ・通常の勤務ではないことを経験できたのはとてもよかつたが実際の日常業務についての指導とは違うので、どうかと思います。
- ・定期的に参加して自分を高めたい。
- ・当時はそれでよかつたと思う。多くの参加者を育て実習の始まつた今は調整が必要となっているかもしれない。
- ・当日では単語の意味を理解するのに難しかつた。事前に資料がほしかつた。
- ・到達すべきカリキュラムが理想的過ぎる。
- ・頭を切り替えるのに時間がかかつた。
- ・同じ薬剤師でも考え方が大きく異なることがなかつたのは期待外れでしたが、良かった点でもあります。
- ・内容は良かったと思います。
- ・日時・場所等参加しやすいものにしてほしい
- ・日程的にも三日間が妥当だとも思いますし、内容的にもほぼ全体にカバー出来ていて良かった
- ・認定期間をもう少し短くして、定期的に受講する必要があると思う。なぜ、この資格を取りたいのかを受講する側にもっと意識付けをさせていくべきであると思う。
- ・年代が幅広かつたのでいろいろな情報を得ることが出来たが、若手には踏み込みにくい空間でもあつた。しかし、大変勉強にはなつた。
- ・漠然として始まつて、途中では何をしていた何処に向かっているのか分からなかつたので、最初にもっとオリエンテーションや講義を聞いて全体的なことが解かつてから始めて頂いた方が、自分の思考の方向性も決まつたと思います。
- ・発言する参加者が毎回同じになり偏りが生じてしまう
- ・疲れ果てたことが、一番印象に残っています。
- ・評価方法など、考え方がなかつた。
- ・不安ばかりが大きくなつてしまつた。
- ・平成18年にWSを受けたので内容のあやふやな点が多くその時の報告書を見て書きました。あくる年くらいにアンケートをとつてほしかつた。
- ・保険薬局勤務者として、手順書等のカリキュラムがないことが不思議でなりません
- ・忘れてしまつた
- ・面白かつたですよ。
- ・薬学生、薬剤師
- ・薬局と病院とでは、考え方が違う。そこに大学の教員が入ると、更に違う。これらの人々の意識をどう1つにしていけるかが、大変勉強になり、やりがいがあつた。
- ・薬剤師としてWSへの参加自体がはじめての体験でしたので全てが緊張であり新鮮でした。
- ・薬剤師としての職域を広げられる様な取り組みなどについて意見交換など出来ればと思います
- ・薬剤師としては有意義だったが、実際の実習を進める時は、業務との兼ね合いもあり、きちんとしたカリキュラムを作ることができないので、もう少し、現実に則した内容であつてほしかつた。

- ・薬剤師は教育者ではないので、講義で伝えるような目標は実習に入れなくて欲しい。
- ・予想していたより楽しかったので良かったと思います
- ・予備知識があるととても有意義なワークショップになったように思う。
- ・予防医学について薬剤師ができることをもっと話し合いたい
- ・様々な意見を集約し、問題点を抽出し、解決に導く方法を学べた。
- ・理解できたのでよかった。スケジュールがタイトではあるが内容を考えると仕方ないと思う。
- ・一回のワークショップでは理解できなかった。再度、受けてみたい。

【記述 51】

4. ワークショップ全体について

(4) 今後、ワークショップ受講者を対象とした地区単位、地域単位のアドバンスワークショップが開催される場合

④ どのような内容を希望されますか。ご自由にお答え下さい。

- ・「評価」に対する理解度をある程度まで統一していくためのディスカッション
- ・6年制の実習の現状、課題
- ・6年生実務実習が、数年経過しての問題点の抽出
- ・PNP のフィードバックのロールプレイなど。教育の手法をさらに知りたい。
- ・SBOに関して大学でどれ位学んできて薬局でどの程度まで指導するか
- ・SBO の学習目的の真の狙いを知りたい。そしてその効果的だった方法。なにを教えたらいいのかわからない SBO がある。例えば、「保険薬局として認定される条件を、薬局の設備と関連づけて具体的に説明できる。」なんていう SBO をどうやって教えれば学生にとって有意義なものになるのか？
- ・SGD なども取り入れつつ、実際の実習の課題などもお互いに意見を出し合いながら討議できるような
- ・SGDは大事です、KJ方も取り入れて
- ・WSと実習での相違点・問題点などの検討
- ・WSの振り返りとお互いの交流。
- ・アドバンス WS について:薬局・病院・大学の各グループにおいて、これまでの実習を通して出てきた問題点などについて検討した後に、3グループ合同でこれらの問題点を通して、今後よりよい実習を行うための討論を行ってはどうかと思えます。認定実務実習薬剤師養成 WS について:実習を行うに当たり WS を受けたことは教育理論を理解する上では非常に有意義であったと思えます。カリキュラムや目標設定の必要性、評価方法などを知ることにより、実習はまさに教育の一環であることを改めて認識させられ、また、「教える」ことは一方的に行うものでなく、学生が「何を学んだか」理解度を確認しながら行わなければならないことがよく理解できました。しかし、カリキュラムプランニングや目標設定、方略や評価方法の構築など、ひとつひとつをとると、あまり活用できなかったのが現状です。実習はコアカリに則って行うことになっており、従ってカリキュラムプランニングは必要でなく、GIO,SBOsについても既に決まっているので改めて構築する必要はありません。また、評価をしなければならぬ SBOsの数が多すぎて、その個々の SBOsに対してひとつひとつ方略や評価方法を構築するには手間がかかりすぎて現実的ではありません。実際には実務実習関連の書籍などを参考に、薬局の状況に応じて実習内容を構築していったというのが現状です。
- ・いろいろな薬局のタイプがあるので、ある程度基準をつくって参加するにすれば理解しやすい。
- ・お互いの実習内容と内容の向上。

- ・お互いの立場を理解する為に、交流は大切。
- ・カウンター実習50コマをどのようにこなしたらよいか教えてほしいです
- ・カリキュラムの内容を掘り下げる。特に教えにくいという意見の多い箇所(薬局製剤・漢方・在宅・OTCなど)について研修し、薬局間の格差を埋める。
- ・カリキュラムプランニングで、自分が実際に携わっているユニットを選べるなら、より実務実習に活用できると思う。自分が携わっていないユニットでは、実際に携わっている人たちが参加しているところを見学したい(携わっている人たちがどのようなことを感じて考えているのかなどを知りたい)
- ・グループワーキング
- ・グループディスカッション
- ・コアカリキュラムに対応できない部分の対応方法などの模索など
- ・コーチングについて
- ・コーチングについての技法
- ・これからの在宅医療について(薬局でどう取り組むか?)
- ・しなくてよい。
- ・すぐに現場で活用できる内容。理論ではなく。
- ・すべての施設が画一に近い形でできる実習計画の作成
- ・すべての職業の薬剤師が納得できるカリキュラム
- ・スモールディスカッション
- ・そもそも時間を割いてWSが必要なのか?
- ・そもそも時間を割いてWSが必要なのか?
- ・それぞれの施設での工夫した点と問題点
- ・それぞれの情報の共有
- ・それぞれの立場から、実務実習実施の現状や問題点を確認し共有したい
- ・それぞれの立場での経験に基づく問題点などの提案。
- ・それぞれの立場をきちんと理解し、お互いの領域で無駄を省くような実習になるような方法を話し合いたいと思う
- ・それぞれの領域での実務実習に係わる内容が理解できる事。
- ・チーム医療
- ・ディスカッションの時間を多くとり、参加者それぞれが意見を出し合い時間をさくことに重点を置く。
- ・どのような内容で指導したか知りたい
- ・どのような教材をつかっているか、工夫している点を意見交換したい。
- ・どのような資料を使用して実習したのか、意見交換できる内容が良いと思えます。
- ・どのような実習をしているかなどの意見交換や効果のあった実習などについて。
- ・どのような実務実習をされているのか。など、色々な情報交換
- ・どの受け入れ薬局でも同じようなレベル(指導の均一化)になれるようなもの
- ・どの様な内容を大学側が求めているのか。実習を受けた学生の意見が聞きたい。
- ・トラブル事例の報告会は受講しましたので、逆に「こんな実習にしました」という報告会はいかがでしょう?
- ・トラブル防止対策の実際その検討、トラブル起こった後の対応協議、薬学教育と薬剤師教育、意思統一
- ・なるべく地域を限定して(学生さんが実習を行う地域)病院薬剤師の方は薬局に対して、薬局薬剤師は病院へのお互いの情報交換の場があればと思います。実際どのように行われているのか、こちらでどこまで指導していいのか、どのような不都合があったのか相応で確認しあう場があればと思いました。
- ・ひとつのテーマについて SGD で討議し発表する
- ・フリーディスカッション
- ・まず学校ではどのように教えていて現場ではどうだとか話をしてからディスカッションをした方がいいと思う。すべてみんな同じ立場からのスタートだとうなのだろうと思う。今は実際に実務実習が始まっているので現場に沿ってきているかと思えます

- が、私の時は、広い待合室に OTC も充実。他の薬剤師・事務は多数いる。調剤室も広く、机も余っていて学生専用の机あり。調剤室の隣に休憩室兼会議室(応接室) 業務中にそこで講義したりという設定では現実にはそぐわないので嫌でした。現実にある設定でのディスカッションがよろしいかと思う
- ・ もう、実習は始まっていますので、実際にどのように行い、地域との連携をとっているか?など、具体的な情報が欲しいです。
 - ・ もし、新たに加わったようなテーマがあれば、紹介してほしい。
 - ・ モチベーションの上げ方
 - ・ モチベーションの上げ方
 - ・ やりにくかった項目や問題点など意見交換など
 - ・ やる気のない学生への対応策 どうすればやる気が出るか
 - ・ より良い実習にしていけるためのワークショップ(実習上での問題点、共有すべき事例などの討論会)
 - ・ ワークショップのおなじチームになったメンバーで実習終了後のグループディスカッション
 - ・ ワークショップの地域連合性を高める内容。
 - ・ ワークショップの中で学んだ重要なことを忘れかけていることもあり、実習を終えて再度確認していくようなもの。
 - ・ 意見交換。実際に受け入れた経験談をもとによりよい指導をしたい。
 - ・ 医療の流れの中での薬剤師の職能を発揮する方法
 - ・ 医療人としての倫理とは何か。普遍的な内容を。
 - ・ 医療薬学ワークショップ
 - ・ 一般販売 セルフメディケーションについて調剤薬局では経験が少ないので体験してみたい
 - ・ 一般名、製品名、基本的薬理作用をマスターすることの重要性について。
 - ・ 過去の実習の紹介と、その成果・反省点
 - ・ 各カリキュラムにおいて具体的にどのようにやっているか経験談
 - ・ 各項目の講義内容をインターネットでの動画配信する
 - ・ 各施設での実習内容(プログラム)について
 - ・ 各施設での実務実習の実施状況報告・情報交換。
 - ・ “各施設で行いやすい実習とそうでないものがあるため、行いにくい内容をお互い行えるようになるような内容。どのようにしているかの事例、近隣の協力体制など。
 - ・ 受け入れ経験があるなしで必要な内容はかわってくると思う。”
 - ・ 各施設の具体的な実施内容
 - ・ 各職域での情報交換
 - ・ 各職域間での実施内容の明確化とその確認(再度)
 - ・ 学校薬剤師体験
 - ・ 学習方法のアイデア、対応の難しい学生への実習
 - ・ 学生がどのようなことをオスキーでやってくるのか、具体的に教えてくれるような研修を受けられれば、それに即して実習が行えると思う。
 - ・ 学生に良かったと評価されたこと・レベルアップになったことは何か、事例をあげてほしい。
 - ・ 学生のモチベーションがよりアップするようなスキルを身につけられる内容
 - ・ 学生の希望する実習について 評判の良い施設の例
 - ・ 学生の個々レベルにあった実習スケジュール作成について。
 - ・ 学生の考えや学習内容をもっと理解するため、学生と指導薬剤師の意見交換
 - ・ 学生の叱り方
 - ・ 学生の受け入れ等の問題点・良いことなどの意見交換
 - ・ 学生の評価について
 - ・ 学生の評価について。及第点を与えられないような学生がいる場合、どのように対応したらよいのか。
 - ・ 学生への接し方。接遇の上手な教え方。
 - ・ 学生実習受け入れ経験から得た教訓を共有できる内容
 - ・ 学生受け入れに手を挙げやすくする内容
 - ・ 学生受け入れの反省や改善点などの意見交換
 - ・ 患者情報の共有について(薬業連携)
 - ・ 患者心理しかり、実習中の学生の心理状態しかり、薬剤師(指導薬剤師)として洞察力を身につけるには…。実習中に起こるトラブルを未然に防ぐために必要かと思います。
 - ・ 基本的な考え方の定着を目標とした参加型研修にしてみたい
 - ・ 希望しない
 - ・ 既に実習が始まっているので、実際のカリキュラムに則り、どのように指導していくべきかなど具体的に話合う
 - ・ 規模に応じた受け入れ体制、コアカリキュラムの見直し
 - ・ 儀礼、しつけ、師弟関係について
 - ・ 技術面も含めた教育論
 - ・ 共通事項ではない薬局実習、病院実習に分けて行うセッションがあってもよいかと思います
 - ・ 教えにくい LS について
 - ・ 教えにくい SBO をどのように取り組むか、について
 - ・ 教育という観点より学ぶことができる内容
 - ・ 教育の継続について
 - ・ 教育学や心理学についての内容を組み込んで欲しい。
 - ・ 教育評価、フィードバックの方法
 - ・ 教育評価における目標到達の基準について(何を持って、十分到達したと判断するか)
 - ・ 教育方法論と現行カリキュラムを用いたロールプレイと現行カリキュラム個々の内容の具体的な実施状況
 - ・ 教育理論を身につけた指導ができるようなスキルアップ研修会。
 - ・ 教育論
 - ・ 教育論、評価方法、指導論と言ったところを継続してブラッシュアップできる場が良いのではないのでしょうか?
 - ・ 教育論的な事、薬剤師国家試験内容の紹介
 - ・ 具体的なケーススタディについて問題解決に向けての討論
 - ・ 具体的な指導内容。
 - ・ 具体的な指導方法。こんな指導してます。こんなやり方もあります……など。
 - ・ 具体的な指導方法と問題点
 - ・ 具体的な実習の進め方。その方が施設間でも偏りが少ないと思えます。
 - ・ 具体的な実習の進め方。資料の活用方法
 - ・ 具体的な実習内容についてのナレッジ共有
 - ・ 具体的にどういった内容をすべきか。今までのようなトラブル事例だけでなく、成功事例を知りたい。
 - ・ 具体的にどのような実習が良いのか、今で有れば実習場所でやるのが大分異なっていて学生も戸惑っているようです
 - ・ 具体的に実習をどのようにすすめているか、いそがしい時間の中で学生にどのように接しているか、評価方法
 - ・ 型にはまらず、実習を受け入れて良かったこと、悪かったことなどを自由に討議できる内容。またそれを模造紙などで大袈裟に発表しないこと。口頭による発表で十分。プロダクトを書かせるから討議が制約される。プロダクトを作るためのWSではない。
 - ・ 経験した実務実習を踏まえた内容。
 - ・ 継続してください。
 - ・ 建前でない、レポートに書くような綺麗事ではなく、ツイッターされているような、学生たちの反応を知りたい。
 - ・ 現行の実務実習の問題点、改善点を多角的に話し合う。
 - ・ 現行の実務実習の問題点、改善点を多角的に話し合う。
 - ・ 現在、問題となっている点を課題としてしたら良いと思う。
 - ・ 現在の6年制教育の現状について。(知識以外にも実技など) どのようなことを学んでくるのか知りたいです。
 - ・ 現実的で効率的対応方法の紹介
 - ・ 現場であまり行わない目標について、指導のポイントや資料の提供があれば助かります。
 - ・ 現場での教え方

- ・現場での詳しい実務実習の問題点
- ・現場で具体的に活用できるツール等の共有、地域の実習関連のネットワーク作り
- ・現場で実際にやっていること、困ったことを具体的に話し合えると良いかと。
- ・現場と教育機関との様々なギャップを埋めるような内容
- ・現場に即したP、一薬局完結が無理な状況での実施方法。
- ・現場の業務にちかい内容
- ・現場の問題点の情報交換
- ・現状と問題点
- ・現状の実務実習生の指導内容
- ・現状を話し合えるようなもの。
- ・現状共通問題の効果的問題解決策が出た場合、1～2行にまとめ、会員誌等で全国に発表できる機会を設ける。
- ・現状把握 指導内容把握
- ・工夫した実例、うまくいった事例、うまくいかなかった事例の紹介。他施設の方との情報交換もできると有り難いです。
- ・工夫した実例、うまくいった事例、うまくいかなかった事例の紹介。他施設の方との情報交換もできると有り難いです。
- ・今までの実務実習に対する、具体的な評価。各薬局間での差をどうすればいいか？
- ・今までの問題点とその対策、今後の課題について
- ・今回、実務実習を経験した薬剤師の多くの方々に発表会をしてほしい。
- ・今後の方針と薬学生に期待することについて(受け入れてから再度教わることで気付くこともあるため)
- ・今後の薬剤師育成の方向性に関する内容
- ・今後様々なカリキュラムの変更が生じてきた時の内容・実際の大学側からの問題点や要望など。
- ・最初のWSで、自分がまだに不十分だと感じる『評価』と『問題解決』『カリキュラム改革』などの分野に関して
- ・在宅、患者接遇、チーム医療
- ・在宅や薬局製剤など
- ・在宅医療に関連する事柄
- ・参加型研修会。ゲーム形式でも構わないと思いますがどうすれば参加者の意識を変えられるかという内容
- ・参加型実習の場の作り方
- ・指導しての問題点を出しあい、事例報告会をしてほしい
- ・指導するモチベーションを高めてくれる内容をして欲しいです。
- ・指導ノウハウ
- ・指導や評価を行うスキル向上
- ・指導意欲を維持または高めるためのもの
- ・指導者の連帯感の強化と、意識レベルアップ
- ・指導者側が孤立しないような支援、実際に苦労した所などの意見交換
- ・指導薬剤師としてブラッシュアップされるようなもの、情報交換のようなものがあればいいかと。
- ・指導薬剤師になるまでの講義、ワークショップを、どのように学生実習に生かせるか、またその方法をいろいろな条件で聞いてみたい。
- ・指導薬剤師の意見交換
- ・指導薬剤師の考え方・指導方法の統一等も多少必要かと思うので、それらが知れる機会があれば助かる
- ・指導薬剤師の先生方がどのように実習をすすめていかれたのか？(うまくいかれたと思われる先生のお話をきいてみたい)
- ・指導薬剤師以外にも、実務実習の意義と概略がわかるようなもの
- ・指導薬剤師養成 WS の内容をブラッシュアップできるような内容や各施設担当者との意見交換会。
- ・施設・地域によって集合研修等が異なると思うが、どのようなことをやっているのか実態を知りたい。
- ・施設ごとに実習内容が異なるところをなるべく平均化してあげられるような指導方法のレクチャーなど。
- ・施設に対する学生の対応
- ・施設間での差を学生・学校はどう感じているか。又、それに対して、どうしていったら良いか。
- ・施設間での実習内容の差について LS 毎に詳しく行っていききたい
- ・施設間の差:それぞれが重点とするところが違う場合など、各病院・薬局の公開討論会・意見交換等
- ・施設間格差を少しでも埋めるためにどのような実習計画にすればよいか。
- ・私たちが教育者の立場で物事を育てられるようなワークショップなら良いと思います。
- ・事例研究
- ・時間が経つと目的や熱意が薄れていくので、ワークショップの内容を再度確認できるもので良いと思う
- ・次回、受入が更に良いものになるよう、必然的に話し合えるような内容。
- ・次世代の薬剤師に何を託したいか？
- ・自由な情報交換 具体的なよい実習内容の紹介など
- ・自立の教育を。⇒反省すべきは大学教育と教育者の資質改善
- ・実際5年実習生をうけいれて、カリキュラムで工夫したこと
- ・実際にいろんな性格の学生さんが来られるので、技術面と精神面の指導について。
- ・実際に学生を受け入れるようになってからわかった問題点やこれからはどのように変化していくと思われるか。
- ・実際に学生を受け入れ有効であった方略、問題点のあった方略、また改善策の検討等
- ・実際に現場で困った事案などを解決するためのワークショップ
- ・実際に今まで受け入れた指導薬剤師に質問をするなど、不安点について話を聞く機会であったり、受け入れた指導薬剤師どうしてこうすればよかったなどの意見交換できる場
- ・実際に実習している方々と問題点を共有
- ・実際に実習で役に立ったり、問題について話合う。
- ・実際に実習を経験した上での情報交換、要望などを話し合う
- ・実際に実習を行っての問題点等の解決法。
- ・実際に実習を行ってみて、どのように充実した実習内容に出来るか。いろいろ工夫されたり苦労されたりした点をお聞きしたい。
- ・実際に実習を行ってみて、指導が難しかったと多くの指導薬剤師が感じる部分について
- ・実際に実習を行って分かる善い点、改善点
- ・実際に実習を受けた学生さんの率直な感想・意見をフィードバックしていただきたいと思います。
- ・実際に実習現場で起きた問題点について
- ・実際に実習指導をした上で感じた問題点やその解決法
- ・実際に実習生を受け入れた後の問題点について、検討したい。
- ・実際に実習生を受け入れた先生方の、成功例や失敗例の紹介。
- ・実際に実習生を受け入れてみて、改善すべき点を話し合ったり、他施設でどのようなことを行っているか、情報収集したい。
- ・実際に実務実習を体験した指導薬剤師間で問題点等を出し合い改善案をはなしあう。
- ・実際に実務実習を体験した指導薬剤師間で問題点等を出し合い改善案をはなしあう。
- ・実際に受けいれてみての問題点の解決方法
- ・実際に受け入れたときの問題点、対処法を教えてください。
- ・実際に受け入れた方の意見も参考にした内容を組み込んでもらいたい
- ・実際に受け入れての問題点や良かった点などを忌憚無く話せる場であれば。
- ・実際に受け入れてみての問題点、悩んでいることを話し合える時間も作ってもらえるとよい
- ・実際に受け入れて困ったことや工夫したことなど情報交換

- ・実際に他施設でどのように指導しているのか聞いてみたい。
- ・実際のエリアでの実務実習で実際に評価に関わった指導薬剤師(薬局、病院)と大学教員のSGD
- ・実際の指導に関して具体的な進め方、問題点の解決方法、評価の方法
- ・実際の指導方法例
- ・実際の実習での使い方
- ・実際の実習で達成困難な項目の有無、対処方法など
- ・実際の実習に関わる内容のものが希望
- ・実際の実習に役立つ情報
- ・実際の実習に役立つ内容をしてほしい
- ・実際の実習経験を共有できる機会
- ・実際の実務実習に即したもの
- ・実際の日常業務と実習項目の結びつけ
- ・実際学生を受け入れた指導薬剤師の情報の共有
- ・実際実習に関わってみて困ったこと、改善すべき点などを職種の枠を超えて話す場を提供する。
- ・実際実習をする上で困っているSBOやこうすると質が向上しますといったLSの提示
- ・実際実務実習を行ったときに生じるような問題を選択して欲しい(アンケートなどから)
- ・実際実務実習を行って、やりにくかったことや、それをどう解決したかを発表したり議論したり
- ・実際受け持った実習生をもとに情報交換し、指導法の基本や改善点などができるような現場本位の研修。
- ・実施から今までの問題点や施設格差など、初期に問題点としてあげていた事のその後の結果報告など。
- ・実施しにくい項目についての具体例、創意工夫した点
- ・実施に起こった事例に対する対応方法についての話し合いや、実習の進め方など、もっと具体的な内容でのディスカッション
- ・実習カリキュラムの再評価(現場で行いにくいSBOs、大学での事前学習内容など)
- ・実習が難しいLSについての具体的な指導方法。経験交流など。
- ・実習していて困っていることや実習で工夫していることがあれば聞いてみたいです。
- ・実習スケジュールの消化方法
- ・実習での問題点と解決策、解決案。実習に対する学生の感想、意見。
- ・実習での問題点や実際の事例検討また対策など
- ・実習での薬局・病院の連携
- ・実習で工夫している点、問題点などの経験を共有して、改善していけるようなディスカッション。
- ・実習にあたり到達目標実施で使用した資料などを共有できれば良いと思います。
- ・実習における問題点とその解決方法
- ・実習における問題点やそれに対する対応など、学生が良いと思った事やこれがいやだったなどの生の声を知りたい
- ・実習について、工夫を必要とすることへの対応、意見交換
- ・実習に用いる資料を共有化するとか、SBOs毎に、相応しい具体的な実施方法を考えるとか
- ・実習のカリキュラムを作る作業を具体例をあげて紹介、それをもとに討論するような内容
- ・実習の意見交換・感想・実情など
- ・実習の時に工夫した点や成功例、失敗例などの実習を行っての具体例
- ・実習の成功例(他の受講者が後に活用できるような)の報告や検討
- ・実習の方法ではなく、方向性などを見つめなおす。
- ・実習の理論より実習の進め方に重点を置いて具体的に
- ・実習は、教育の一環なので、大学での教育内容などについても事前に少し知識があればよいと思います。
- ・実習は以前より存在するので(6年制以前にも)問題点等の集積は出来ていると思われませんが、事例に則した内容にした方がより興味深いとおもいます。
- ・実習をやってみて、よかったことや問題点を話合う。また、それに対して工夫した点、改善した点などが聞きたいです。
- ・実習をよりよくしていくために、実習目標、項目や内容、学習の方法を再検討して毎年同じではなくバージョンアップする。そのためには実習後に実習内容の問題点や改善点についてとりあげたらよいのではないのでしょうか。(実習のトラブルなどの報告はあがっているので、そうでなく内容のことです)
- ・実習をより豊かなものにする為の具体例の提示や、手法の紹介および実践。
- ・実習を行う上で、他の施設等でどんな工夫をして行っているのか
- ・実習を行う上でメリハリが付き、学生の記憶に残る、感動するような各薬局でのテクニックなど
- ・実習を行っての問題点や良かった点などの意見交換。
- ・実習を行なってからの反省点や成功点をふまえ、今後のための改善策等の内容
- ・実習を指導するスキルアップに関する内容。
- ・実習を施設の実情にあわせどのように工夫実施したか、どのような問題にどのように対処されたかなどをSGDで。
- ・実習を受ける想定において、カリキュラムを具体的に作成する実践的なもの(現在が基礎編でありその応用編)
- ・実習を受け入れた経験からの問題点を抽出し、解決法の話し合い。形成的評価について(どのようにしたらよいかなど)。コーチングについて。
- ・実習を受け入れての問題点、改善点などの検討
- ・実習を終えて反省点、トラブルの解決策を話合う。
- ・実習を充実させるための施設の工夫や実情
- ・実習経験の実例について
- ・実習現場で具体的かつ即使える内容。
- ・実習現場に沿った内容
- ・実習後の意見交換会。
- ・実習後の学生の変化、成果
- ・実習指導に役立つ様、漢方製剤、薬局製剤、在宅など実際に行っている薬局などで研修してみたい。
- ・実習指導の改善方法など
- ・実習指導の具体的手法と評価方法について、現場に即した形で。
- ・実習指導の具体的方法(タイプにあわせた指導など)
- ・実習時の学生の態度、姿勢
- ・実習受け入れにおける問題点
- ・実習受け入れの体験談、問題点などのフィードバック。
- ・実習受け入れを行なったの各施設の考え
- ・実習受け入れ後の意見を出しあって、今後に生かせるような内容
- ・実習受入経験談を聞かせて欲しい。カリキュラムの内容、時間の割り当て等実際に行なったことを知りたい。
- ・実習受入後の問題点等の討議
- ・実習受入施設の格差の是正 薬局と病院との報酬など細かいルールの違いの是正 年配薬剤師の再教育
- ・実習受入時に生じた様々な問題点について
- ・実習受入時に生じる、コアカリキュラム上の具体的な問題点や、その対処方法の検討。
- ・実習生が同じ経験が出来るようにする方法を考える
- ・実習生の教育にあたり、感じたことやそれぞれの取り組み等色々な意見交換ができる場があるとうれしいです。
- ・実習生の失敗談、指導薬剤師の失敗談
- ・実習生を受け入れた施設の問題点の抽出。送り出した大学側が学生から得た問題点の抽出。
- ・実習生を受け入れての問題点、改善点、感想などの情報交換。

- ・実習生受け入れ、実施、未実施に係らず分かりやすいワークショップ
- ・実習生受け入れ経験ある薬局からの経験談、問題点などを聞ける場を設けてほしい
- ・実習先で実際に起きた問題点について認識を共有し、解決策について考える
- ・実習先の施設と大学側との考え方の相違点
- ・実習担当教官が宗教を学生に載せたり、指導薬剤師に「指導をするなしゃべるな」等訳の分からないことを言う。このようなことがないようにしてほしい。
- ・実習中の起こった問題点とその改善方法など。
- ・実習中の悩み
- ・実習内容・評価方法の標準化
- ・実習内容の標準化が図れるような内容。現状ではやはり施設、指導薬剤師によって差がひらくように感じる。
- ・実習方法の検討など。
- ・実習方法やその問題点について。
- ・実践的な指導方法に関する内容
- ・実務に役立つテーマを希望
- ・実務実習が始まって一年が経ったので、集積されたデータに基づいた内容について検討する
- ・実務実習が始まり、そこから生まれた問題点や現場の実状の抽出
- ・実務実習してみてわかった問題点や改善すべき点をあげ、どの様によりよく負担を少なくしていけるかを話し合う。
- ・実務実習でこんな事をしているなどをディスカッションして、改善策やさらによくするための工夫を話し合う
- ・実務実習での経験を通して
- ・実務実習で生じた問題点への対応についてなど。
- ・実務実習で不安なことや、自分で出来なかったことなどを話し合える場があれば良い
- ・実務実習における具体的問題点の解決方法や実習方法
- ・実務実習における問題点について、実習受け入れ経験者からの意見やアンケート結果についての考察。
- ・実務実習について(長期の実務実習を受け入れ始めた今の内容と、後数年後の内容は違うと思いますが)
- ・実務実習に関わってからの現状における情報交換の場があるとよいと思います。
- ・実務実習に直接役立つ内容(認定薬剤師が薬学生に指導すべき事柄)
- ・実務実習のカリキュラムの具体例・成功例 地域の協力体制・仕組み
- ・実務実習のこれから
- ・実務実習のやり方について
- ・実務実習の改善点
- ・実務実習の具体的なスケジュール(他施設ではどのように 2.5カ月をカリキュラム組んでやっているか。特徴的なもの。)
- ・実務実習の経験について意見を交換しながら、そこから出る問題点を解決していく。
- ・実務実習の現実
- ・実務実習の今後の問題点。実際に報告された問題点の解決策など。
- ・実務実習の失敗例・成功例・改善点の共有
- ・実務実習の実施内容の情報交換ができて、アドバンスできるような内容
- ・実務実習の実施例を具体的に紹介し、より合理的な実習がおこなえるように支援してほしい。指導薬剤師のスキルアップセミナー。
- ・実務実習の実態。自局で完結できなかった時。病院での実習項目とダブること。
- ・実務実習の実務の具体例
- ・実務実習の他施設での状況、内容を知りたいです。
- ・実務実習の問題点
- ・実務実習の問題点、今後の薬学教育の進め方、今後の薬剤師教育(卒後教育)のあり方、医療における薬剤師の立ち位置・あり方、等に関する内容を希望します
- ・実務実習の問題点と学生の実習感想
- ・実務実習や大学でのカリキュラムの最新情報について
- ・実務実習を経験した上での情報交換
- ・実務実習を経験した上での良かった点・悪かった点について意見交換
- ・実務実習を経験した上で困難だったことなどの意見交換の場。
- ・実務実習を行う上で、重要度、緊急度を踏まえたカリキュラム作りが大切かと思っています。
- ・実務実習を行う上での問題点の抽出とその対処法について意見交換会を指導薬剤師以外の方からも実習に関わる方々から意見を聞いてみたいです。
- ・実務実習を行った経験を活かし、反省点やさらに踏み込んだ実習にするにはどうすればよいかを考える内容
- ・実務実習を行った指導薬剤師の感想、また実務実習を受けた学生の感想等次の実務実習をより良いものとする、現場重視の内容を希望します。
- ・実務実習を行っての問題点とその解決策。
- ・実務実習を行なった上での問題点を挙げ、対策を討議する。
- ・実務実習を行なったの学生や大学などの要望を受けて指導薬剤師がすべきこと。
- ・実務実習を実施していく中で改善・改訂などがあった点について
- ・実務実習を受けた学生の変化や大学の評価を聞きたい。
- ・実務実習を受け入れて、感じたこと、困ったことをお互いに話し合い、改善を図る場
- ・実務実習を受け入れてみての問題点について。
- ・実務実習を終えた学生(6年生)も交えてワークショップや情報交換を行いたいです。
- ・実務実習を充実したものにする為、各薬局で取り組まれている具体例の紹介
- ・実務実習開始後の問題点とSBOsの見直し(ほとんど同じ内容があり一つにまとめられる)
- ・実務実習経験者体験談、実習経験学生の体験談
- ・実務実習指導経験の振り返りと問題点、その改善方法と今後の方向性について
- ・実務実習指導薬剤師のスキルアップと実務実習の問題点の抽出と対応策の考案
- ・実務実習自体をよりハイレベルなものにするための講習、及び認定指導薬剤師への指導も行えるような更にハイレベルな指導薬剤師の養成。
- ・実務実習実施後の大学側の実習先への要望・問題点、実習先の薬局・病院側の要望・問題点の検討。
- ・実務実習受け入れに対する問題点、対処法
- ・実務実習受入現場での各項目の内容について深めることができる内容
- ・実務実習終了後の大学でのフォローなど確認できる内容
- ・実用的なもの
- ・実例を交えたLSの内容
- ・受け入れた薬局・病院の実情など
- ・受け入れの具体的な問題点の解決
- ・受け入れる前の不安と 実際に指導してみたあとのギャップ
- ・受け入れ経験のある薬剤師の悩みについて
- ・受け入れ経験の成功例と失敗例をもとにさらに充実した考え方ができないか話し合ってみたい
- ・受け入れ施設による実習内容の違いを克服する方法。
- ・受講したようなSGDのあるワークショップ形式
- ・受入後の意見交換
- ・受入側と大学側の意識の違いを埋められるような内容のものを希望します。
- ・集合研修事例発表、意見交換(在宅医療、災害医療等教え難

い項について)

- ・初めて受け入れてもらうにあたって不安を払拭できるようなもの
- ・初めは、教育用語などが必要ですが、2回目以降は、もっと実践的なことも必要では
- ・消毒薬に詳しくなるには？ OTCを教える為には
- ・情報交換(実習受入後の)し、大学側へ意見を述べる。
- ・情報交換が可能な内容。
- ・情報交換にとどまらず、しっかりした議論のばであること。
- ・情報交換や問題点の改善方法を考える。
- ・職域は、薬業の三者が、これからも唯一 交流できる場となる。大事な必須構成である。
- ・職種のスキルアップにつながる内容であれば何でも構いません。
- ・職種を超えて実務実習にかかわる方に対して、現状のトラブルや改善点などの報告があるといい
- ・職能を活かした薬剤師の今後の将来性について
- ・数年間の結果をふまえ大学、学生、指導薬剤師がどのように考え、実践し、結果、問題点はなんなのかなど知りたい
- ・精神科患者さんに対する対応の仕方。疾患別で詳しく。
- ・専門分野外の広域な学習
- ・全ての復習から行なって欲しい。
- ・想定外の学生が来たときの対処法(モラルハラスメントなど)
- ・他の施設での実施状況がわかるような内容。
- ・他の薬局での実務実習内容で良かったところなど紹介してほしい
- ・他施設での実習の様子や実習の問題点について
- ・他施設との情報交換など
- ・体験談など情報交換
- ・对学生ノウハウ。評価に悩む場合に拠り所となる指針。
- ・大学、病院、薬局それぞれの領域で、やるべきこと、やらなければいけないことをしっかり話し合える場が欲しいと思います。
- ・大学・病院・薬局間で共通の問題意識をもつため教育に関する専門言語の共有化についての討議
- ・大学での授業内容をどのように実務実習で展開していくのが望ましいのか、
- ・大学との情報交換
- ・大学における事前学習への受入施設からの要望
- ・大学の先生の意見や学生の変化について情報交換を行いたいです。
- ・大学への要望を伝える場
- ・大学関係者とのつながりの強化
- ・大学関係者を含めたWSとし、実習を終えた学生の本音を確認したいです。
- ・大学教員を筆頭に現状の学生さんの実態や薬剤師同志での指導ポイントのチェック項目など。
- ・地域における病院または保険薬局のどの施設が受け入れているのか分かるといい
- ・地域連携に感しての内容
- ・長期実務実習が始まり、大学、病院、薬局での実習の一連の流れがスムーズに行くような断片的にならないような工夫の話し合い
- ・通常のWSよりも、もっと濃厚で、もっと内容の濃いもの
- ・定期的な勉強会を希望します。出来れば、どのような方略、ツールについての照会が欲しいところです。
- ・東京大学澤田康文先生の主催されている iphiss、みんくすが現状の薬剤師や患者に一番近い話題をいつも提供してくださるので参考になるのではないのでしょうか
- ・到達しにくい目標(過去のアンケートで集計されている)をどのようにして達成していくか。
- ・同じ内容でお題を変えて実施することを希望。
- ・同一年に必ず両方経験するので、様々な意見を大学からと病院からと伺いたい。
- ・二日間にわたるため「大変そう」というイメージがあるのか参加を敬遠される方が多い。もっと気軽に参加できるものにして欲しい。
- ・認定実務実習指導薬剤師を対象とした、より具体的な実習方法について。
- ・評価の基準をわかりやすく
- ・評価の仕方についてもっと分かりやすく。
- ・評価方法 知識・態度の不足部分の補い方・確認の仕方
- ・評価方法の再確認
- ・病院・薬局実習のカリキュラム上のすり合わせを行う内容。薬業連携やチーム医療の部分。
- ・病院および薬局実習の問題点と解決法
- ・病院での実習内容例を把握したい。
- ・病院や薬局で行っている実習の実態を大学側にみてもらいたい。
- ・病院薬剤師と薬局薬剤師の実務の違い。病院薬剤師には薬局薬剤師の実務を、薬局薬剤師には病院薬剤師の実務を理解し、お互いの仕事についての特徴や共通のなどを認識する。
- ・病院薬剤師と薬局薬剤師を分けて具体的な内容にしてテーマを決めてKJ法をやったり、SGDをする
- ・病院薬剤師と薬局薬剤師双方でこの2年間で出てきた問題点はどういったものか？その解決 打開策を聞きたい
- ・普段、感じていることを、ざっくばらんに話し合える場。
- ・復習、各地域の取りくみ など
- ・保険点数に関する取組について(ハイリスク薬加算に対する取組の認識など)
- ・補い合うべき点
- ・忙しい業務の中で行なう実習生の指導について なにか工夫されていることなど。
- ・望まれる指導薬剤師像
- ・目標の達成についての、判断基準。
- ・問題のある学生を担当したときの対処法、事例などの意見交換。
- ・問題点、困ったこと。
- ・問題点・改良点など事例をあげて教えてほしい
- ・問題点のブラッシュアップ、それぞれの施設で行っている実習内容(モデルコアカリキュラムの内容以外も)を紹介し共有する
- ・問題点を解決した例を発表してもらうような講演・伝達会が欲しい。話し合いについては、特にいらない。
- ・薬学教育の現状と実務実習の国家試験対策
- ・薬学教育改革の状況や成果について
- ・薬局、病院、大学での問題や、他職域の方への希望などの意見交換⇒具体的な解決策を決定。
- ・薬局・学生・大学間の連携と問題発生時の対応について。
- ・薬局での負担を減らす方法を考える。
- ・薬局では地域で貢献している薬剤師の活動内容を具体的に。(講義ではなく)
- ・薬局で役立つティーチング・コーティングスキル
- ・薬局としてレベルアップする。(レベルを知ること)
- ・薬局と病院での項目を、各学生ごと受け入れ施設で話せると無駄がない。
- ・薬局実習と病院実習との違いとすりあわせ
- ・薬局実習は薬局の現状を把握することいいと思います。カリキュラムは必要ないと思います。
- ・薬局薬剤師、病院薬剤師、大学教員がそれぞれの現場の状況を話し合う機会がほしかった。
- ・薬局薬剤師、病院薬剤師、大学教員他のグループ分けでワークショップを設定してほしい(温度差がある)。交流は次のステップで・・・。
- ・薬局薬剤師と病院薬剤師が共通の課題としてとりくめるもの
- ・薬局薬剤師は病院での実習について知らないので情報交換したい。

- ・ 薬剤師が職域を確保し、他職種と同等に歩んでゆくためには
- ・ 薬剤師と大学教員は別の内容がいいと思う。大学によって、教員の意識が違いすぎることを感じた。大学教員には、実際にどんな実習をするのかを理解してほしいと思う。
- ・ 薬剤師の質を高めるような内容
- ・ 薬剤師の将来像を見据えて、後人を育てていくモチベーションを上げられる内容。
- ・ 薬剤師以外の講演
- ・ 薬剤師会との連携のとり方(学校薬剤師や在宅など自店舗だけでは対応できないSBOsが実施できるように)
- ・ 薬剤師職能の確立
- ・ 薬剤師法、薬剤師法に基づいて、自分たちの職場の問題を明確にすべき。
- ・ 薬薬連携
- ・ 薬薬連携(退院時共同指導、実務実習の効率化)
- ・ 薬-薬連携とか医薬連携に関すること
- ・ 薬薬連携の必要性、チーム医療の推進
- ・ 薬薬連携を具体的に進展させる対策など現状の問題点を考察する内容
- ・ 様々な業種の方と接する機会があると勉強になると思う
- ・ 様々な職域の方と情報交換が行えるような内容を希望します。
- ・ 理想と現実を早い段階で学生に伝えていきたいと考えている。
- ・ 立場の違いを理解しあえるような内容。
- ・ 良く変化した学生の話(教育の成果、学習の効果)
- ・ 連携(医療現場、教育、福祉行政など)をめざす方向での取り組みを望みます。

【記述 52】

4. ワークショップ全体について

(4) 今後、ワークショップ受講者を対象とした地区単位、地域単位のアドバンスワークショップが開催される場合

⑤ 全体講演を行なう場合、どのような講演を希望されますか。

- ・ 「現場最前線」的な現状と問題点
- ・ 22・23年の実習実施アンケート(学生・大学・受け入れ側)などから、トラブル事例・要望・問題点・効果・今後への展望などまとめたもの。具体例。成果についてなど。
- ・ ④の内容をパネルディスカッションなどで(実施した施設の報告をたくさん聞きたい)。
- ・ 60点は及第点？！
- ・ 6年制になってから薬学部はどのように変わったか。薬学教育の変化を知りたいです。
- ・ 6年制に移行してからの現状を把握したい。(薬学生の人数や地域での受け入れ状況等)
- ・ 6年制の学生が現場に出たときに目指すべき薬剤師像がわかるような内容
- ・ 6年制教育の現状
- ・ 6年制薬学生の実務実習を実際に行った際の問題点とその対処法など
- ・ 6年生になっての薬学生の変化等について。
- ・ 6年生実習が始まってからの、現状や今後の改善点・要望など。
- ・ 6年生薬剤師の大学の教育方法と実務実習における病院、薬局での教育方法の現状。
- ・ カリキュラムの具体的な作成方法
- ・ ころしお薬局の川添先生による在宅(実務実習における説明等)
- ・ ゲーム型研修会を主催されているSCRAP社の内容
- ・ コーチングについての技法の講演
- ・ コーチングの実際について
- ・ これからの薬学教育と医療の場とのつながりをトピックにして

- ・ 欲しい
- ・ これからの薬剤師職能の拡大について
- ・ しなくていい
- ・ スキルアップ
- ・ スクール形式の座学(何百人集めての全体講演等)は必要ない
- ・ スポーツファーマシストの活躍について、在宅について
- ・ その時々の特ピックス。災害時に活躍する薬剤師の情報(阪神・東北大震災での活動)
- ・ それぞれの薬科大学の状況
- ・ ターミナル医療 アルフォンス・デーケンさん
- ・ チーム医療について
- ・ トライアドジャパン 野澤 充 氏
- ・ メンタルケア関連
- ・ より良い実務実習を行うための手法など、現場で参考にできること。
- ・ 医師からみた薬剤師の任務
- ・ 医師の立場からの薬剤師の役割や期待、連携の実際など。
- ・ 医師や歯科医師など実際に実務実習と同じ様な研修制度にかかわっている方の意見を聞きたい
- ・ 医療だけでなく、教育学者の講演を聞いてみたい。
- ・ 医療職教育にとらわれず、すべての教育にかかわる講演(たとえば 尾木直樹さんなど)
- ・ 医療人としての心を伝えて下さる方
- ・ 医療人としての精神的な面(倫理観や患者の為にと言う心の持ち方や矜持)
- ・ 医療人教育改革について
- ・ 医療連携のために薬剤師が習得すべきこと。在宅に必要とされる薬剤師の力。
- ・ 医療連携や在宅医療
- ・ 一般社会から求められる薬剤師像について
- ・ 学習意欲の低い学生への指導について
- ・ 学習者、指導者、見守る者のそれぞれの持つ悩み、そして理想的な実務実習の実例
- ・ 学生がどのような反応を示しているかを、講演して欲しい。
- ・ 学生が実習した施設に就職したケースが多い薬局・病院の話
- ・ 学生のモチベーションを上げて行くための指導者のコミュニケーションUP方法
- ・ 学生の実習に対すモチベーション
- ・ 学生の生の声が聞きたい。
- ・ 学生の認識と指導者側の認識のギャップについて。
- ・ 学生の本音と意見
- ・ 学生をよりよい指導をするための具体的な方法、学生の評価方法について
- ・ 学生教育についての講演
- ・ 学生実習が行われて、学生はどう変わったのか？そして大学教員はどう変わったのか？
- ・ 鎌田 実先生(医師)
- ・ 患者や学生に対するコミュニケーション能力など
- ・ 患者中心の医療 原点回帰(鎌田 實)
- ・ 希望しない
- ・ 教育について(教える、指導するという事になれていないので)
- ・ 教育について、教育方法について
- ・ 教育現場の実情や問題点、改善点、方向性などを明確に教授戴ける方なら良いのでは？
- ・ 教育者としてのあり方、教育論
- ・ 教科書的な全国統一版の指導書が欲しい。
- ・ 具体的な6年制薬剤師像と4年卒のなすべき事
- ・ 具体的な指導方法。カリキュラムだけを渡されても何をどのように教えれば良いか分からないことがある。
- ・ 現場の具体的な講演を希望します
- ・ 現場の薬剤師対象ではなく、大学教育者に、現場の実情を講

演すべきである。

- ・ 現場の話が聞きたい。GIOとかの話はもういい。
- ・ 現場を知っている人の講演が望ましい。(大学教授など偉い方ではなくて。大学の温度差など感じてしまうので)
- ・ 現役薬学生の薬剤師像
- ・ 個々の問題もあるかと思いますが、実習中に起きた問題点をどうクリアしたか、今後の参考にしたい。
- ・ 行ってみて良かった点の情報提供
- ・ 講演方式ではなく、できるだけ小グループの集まりとし、活発な意見交換が望ましいと思う。
- ・ 国のありかた、方向性を語るができる人。日薬、日病薬、厚労省代表
- ・ 今の薬学生について
- ・ 今回の講演で聴診器を持ちながら病棟に赴く薬学生のお話がありましたが、医者のみならず薬の副作用を発見するためのものであれば、薬剤師教育の一環として非常に有意義に感じます。このような薬剤師としての枠のなかでできることなどあれば紹介していただきたいと思います。
- ・ 今後、実務実習を実施した経験者から、実態について講演いただくなど
- ・ 今後、理想としていく薬剤師像や職域を絡めた話が聞きたいです。
- ・ 今後の日本に期待される薬剤師とは？
- ・ 今後の日本の医療の進む道、その中での薬剤師の役割について
- ・ 今後の薬学教育に望まれること
- ・ 今後の薬学教育のありかた、薬学6年生の総括
- ・ 今後の薬剤師の立場。これからやらなければいけないこと。
- ・ 今後薬剤師が何をしていくべきか、どう見られているか、社会的視点からの内容。
- ・ 最近の学生の考え方 分類
- ・ 最近の学生の問題点
- ・ 最新情報、難易なSBOの攻略事例。
- ・ 災害時(神戸・新潟の薬剤師または県外からのボランティア薬剤師)、在宅医療、中毒患者への治療(医師)など
- ・ 在宅をたくさんされているドクターの体験談
- ・ 市長(薬剤師に求めるものとは・・・)
- ・ 指導内容における学生の希望と本音
- ・ 施設基準に触れた実務実習(薬局が主に)
- ・ 児玉日本薬剤師会会長、日本病院薬剤師会会長、生出会長
- ・ 実際に起こっている各施設での温度差などの改善に向けての提案等
- ・ 実際に行われた実習からの色々な問題点のまとめ
- ・ 実際に指導を行った経験談など
- ・ 実際に実務実習を行った、指導薬剤師の講演
- ・ 実際の実習内容を具体的に取り上げた、指導薬剤師による講演を希望する。
- ・ 実際の実務実習をおこなった現場での問題点の抽出と対策
- ・ 実習から戻ってきた学生の意識の変化などを聞きたい。
- ・ 実習でこれだけはやって欲しいという点や、こういう指導をうけて良かったという例をあげて話して欲しい。
- ・ 実習で行うべきこと、重視すべきことを後援していただきたい、大学側でどのようなことをやってきているのかあまり解らない。
- ・ 実習によって学生がどのように変化したか、何か数値などで示してもらえるとモチベーションが上がると思います。
- ・ 実習に不満をもった学生の話
- ・ 実習の進め方、指導の仕方など、具体的な内容を事例をあげて話してもらえると自身が実習を行うにあたって参考になると思いますし、実務実習のレベルアップにつながると思います。
- ・ 実習の全体データ、トラブル事例、コアカリにない特殊な取り組みをしている施設の紹介など
- ・ 実習は受け入れ施設全体での責任もあるため、他のスタッフも受講できるような講演
- ・ 実習を受けた学生の話も聞いてみたい。
- ・ 実習を終えた学生の声。
- ・ 実習生が実りのある時間を過ごせるようにするための Tip や考え方を講義する。
- ・ 実習生に指導薬剤師を評価してもらい、実習がものすごくためになったという指導薬局での実習内容や取り組み
- ・ 実習生への対応の注意点についてなど。
- ・ 実習生受け入れ後の薬学教育の現状
- ・ 実習担当の大学の教員より要点や意見を集約したものをして欲しい。
- ・ 実務実習がはじまって2年たち、問題となっている点などを教えていただきたい
- ・ 実務実習が始まる前と比較して、学生の理解が深まっているのか。
- ・ 実務実習で学生と対峙するとき、いつも、自社の新人研修ではない！自分に言い聞かせる。今後、この学生が将来、どんな職業に就いても、自局での実習が彼らの業務のささやかな味付けになってくれればと思って指導している。ともに育つ、相手の変化を感じ取ることができる…というような、基本的な教育に関する理念を呼び起こすような講演会が希望。
- ・ 実務実習の意義～初めての6年制薬剤師誕生において
- ・ 実務実習の具体的なカリキュラムなど、実際に実習をされた施設での実習の様子を聞きたいです。
- ・ 実務実習の現状、問題点の把握、改善策など
- ・ 実務実習の実際と行にくいLSの対応について。
- ・ 実務実習の実施施設のレベルを一定にするために必要十分な条件を講演してもらいたい。
- ・ 実務実習の成果を他の地域の様子を含めて報告してもらいたい。(学生たちの意見含め)
- ・ 実務実習の短縮、再検討について
- ・ 実務実習を1年終えての総括。
- ・ 実務実習を経験した方の生の意見(学生、教師、薬剤師)
- ・ 実務実習を行っての現状報告・今後の展望など
- ・ 実務実習を終えた学生が、どう変わったか、成長したのか、実習薬局への要望などについて
- ・ 実務実習を終えた学生のアンケート内容の公開と分析
- ・ 実務実習経験者体験談、実習経験学生の体験談
- ・ 実務実習指導薬剤師の社会的責務について
- ・ 実務実習導入後の学生の意識変化の有無。実務実習がはたして役に立っているのかを数値化してもらえると、受け入れ施設も実習を受け入れた甲斐があったと納得できる。
- ・ 社会の中での薬剤師の立ち位置、将来像について
- ・ 受け入れ経験が豊富な指導薬剤師
- ・ 受け入れ経験での問題点の報告、アドバイス
- ・ 昭和大学の取り組み 木内先生
- ・ 松木則夫(東大教授)
- ・ 上記に携わる方の話
- ・ 上記のような講演。
- ・ 上記の講演できる講師
- ・ 職種の違い、それぞれの薬剤師に期待されていること
- ・ 心理学的分野に関する指導者からの意見と指導力向上案の説明
- ・ 人とのつながりについて、
- ・ 人間(人格)形成に役立つ話。町田宗鳳氏。
- ・ 人道的立場の担い手である医療従事者はどうあるべきか？
- ・ 成功談より、失敗談を聞く方が心に残るのではないのでしょうか。
- ・ 成功例・失敗例
- ・ 先進国の薬剤師の地位立場、権限、職域活動の比較と考察
- ・ 全体からみる現在の薬剤師の職務
- ・ 全体講演が私が参加したワークショップのどの部分を指しているのかが分からないので・・・ 座学のア～オの内容で？
- ・ 全体講演はあまり希望しません。討議・討論に時間を使いたいです。

- ・組織風土 人間育成
- ・俗に言う偉い人とか有名な人ではなく、普通の薬局の指導薬剤師の苦労話等が聞きたい。
- ・他の医療関係者(医師や看護師等)が今後の薬剤師に期待するもの
- ・他の実習施設がどのような進め方をしているかなどの情報が欲しいです。また、評価は具体的にどのように行っているか？ロールプレイは実際にどのくらい行っているのかなどが知りたいです。
- ・多額の費用をかけて実施しているので、実務実習指導の資格を取られた薬剤師は必ず受入・指導を実施するという認識(向上)を植え付けられる講習内容が欲しい。
- ・多岐の問題点について。
- ・大学での事前実習の内容について
- ・大学と実習施設の連携について
- ・大学における教育と現場における教育の比較・検討・評価について
- ・大学の実習に対する姿勢が発信されるようなもの。
- ・大学の先生方と違い、学生への接し方・教え方・言葉遣いなど、慣れていない薬局薬剤師が多いためそのようなテーマを取り入れても良いのでは。
- ・大学の担当教授。他業種の方なら主にサービス業の方。
- ・大学教育のなかでの実務実習の位置づけの現状と展望
- ・大学教員・学生参加型、また今後6年生卒業生による自習体験の生の意見やアンケートなどの集計結果
- ・大学側から見た実習で力を入れてほしい内容と現場の実情について。
- ・竹内尚子さん
- ・中央の考え方や現状、実務実習の将来像について
- ・中島宏昭先生
- ・中島先生のお話
- ・中嶋先生のご講演は大変素晴らしく感銘を受けました。
- ・聴衆をひきつける魅力ある方の講演
- ・調剤過誤の具体的防ぎ方。Etc
- ・調整機構に参加していない東京薬科大学の意見が聞きたい。上手いっている点、悪い点など。
- ・長崎国際大学薬学部立石教授
- ・帝京平成大学の井手口直子先生の講演
- ・東日本大震災のため、途中で実習が中止になった。そのため、予期せぬ事態についての対応、対策。
- ・内田 樹さん
- ・日野原先生に超高齢化社会と医療について
- ・評判の良い指導薬剤師。有名女子アナウンサーの接遇講義。
- ・病院薬局での指導内容と薬局での指導内容を具体的に解説して欲しい。(指導が重複しないようにするため)
- ・分かり易く説明するためのスキルについて。
- ・未来の薬剤師を育てる教育に携わろうという気合の出る講義
- ・名古屋大学医学部 安井浩樹先生
- ・模擬実習のような実践的な内容
- ・木内先生の講演はとても感銘深いものでした。
- ・木内祐二先生の話をもう一度聞いてみたいと思います。
- ・問題点の改善や今後の展望について
- ・薬学実習生の現状と今後の薬剤師の展望
- ・薬学生の病院および薬局の実習内容の評価
- ・薬学大会などで講演されているような、色んな分野で活躍されている指導者による講演を聞いてみたい。
- ・薬局で役立つティーチング・コーティングスキル
- ・薬局と学生・大学の両方の立場から、解決すべき問題点や今後の課題について。
- ・薬局薬剤師、病院薬剤師、大学教員など様々な立場の方が上記のテーマで御講演頂くこと
- ・薬剤師としてのあり方
- ・薬剤師の「明るい」未来について「こうあるべき」をより具体的に

語れ、後進の指導に夢を持てるような内容。

- ・薬剤師の「明るい」未来について「こうあるべき」をより具体的に語れ、後進の指導に夢を持てるような内容。
- ・薬剤師の社会的な存在意義を再認識するために”薬剤師綱領”をテーマにした講演があれば良いと思います。
- ・薬剤師の将来像、4年生と6年生のギャップをどのようにするのか
- ・薬剤師の未来と現状。今我々が何をすればいいのか…
- ・薬剤師の未来像、理想の薬剤師など、学生に話せば希望を与えられるような内容の講演
- ・薬剤師は医療人としてどうあるべきかなどの内容はどうか
- ・薬剤師像もかわってくると思われるので将来像など
- ・薬剤師側ではなく、国の担当者の率直な意見を聞きたい。
- ・薬業連携について
- ・臨床教育に対する大学での取り組みをより具体的に(バイタルサイン、他学部との合同カンファ、倫理教育など)
- ・澤口俊之先生 HQ論。実務実習に直接関係のない分野ですが、教育論も少なからず含まれており興味深く聴くことができます。
- ・澤田康文先生、
- ・澤田康文先生、堀美智子先生、

【記述 53】

4. ワークショップ全体について

- (5)その他、ワークショップについてご自由にご意見をお書きください。

- ・「薬学教育の問題点」という課題だったので実際に実務実習が始まるまではそれをどう反映して行ったらいいか解らない所があった。いざ計画を立てるに当たって、目標設定、方略、評価と、利用すればいい事が解って来たが、すぐに使える課題であったら、ここまで悩まずに済んだかなと思います。これもいい経験でしたが。
- ・“<日常業務の中で感じる事>
- ・服薬指導という言葉について。患者様から、色々日常の事を聞き、教えていただいたの会話等なので、指導という言葉がしっくり聞こえません。他の言葉はないでしょうか？
- ・まだまだ、患者様の健康について協力する姿勢が悪い、足りない感じがします。本当に薬、健康について話しているのでしょうか？ほとんど足りないと思っています。”
- ・“・地域薬局数、医療機関数、就業薬剤師数とのバランスをとって欲しい。
- ・同じワークショップに参加した薬剤師を同じメンバーで集め、経過報告と問題解決と悩みなどを話し合ってはどうか？集合場所は交通の便のよい場所。”
- ・1回で終わりではなく、定期的に受けること必要ではないか
- ・1日目は何をやっているのかわからず、2日目にやっと理解することができたのもう1日多いと達成感が得られるかもしれない。
- ・1年に1度ではなく、ワークショップの回数がふえて、指導薬剤師の数が増えていくと、実務実習がスムーズに行えるように思います。
- ・1年前にWSを受けましたが、意識を継続的に高めるためには、定期的なWS参加などの重要性を感じます。内容もそうですが、皆で意見を出し合い、考える場があるということが大切だと感じます。
- ・1泊2日も必要なし。机上の理論ではなく、現場の業務に即した内容で、地域毎に、もっとこまめに開催して欲しい。
- ・1薬局において、複数名の認定実務実習指導薬剤師を置きたいが、ワークショップへの参加待ちの状態(地域により人数制

限)が続いているので、ぜひとも検討して頂きたい。

- ・ 1 薬局において、複数名の認定実務実習指導薬剤師を置きたいが、ワークショップへの参加待ちの状態(地域により人数制限)が続いているので、ぜひとも検討して頂きたい。
- ・ 1 薬局において、複数名の認定実務実習指導薬剤師を置きたいが、ワークショップへの参加待ちの状態(地域により人数制限)が続いているので、ぜひとも検討して頂きたい。
- ・ 1 薬局に複数の指導薬剤師を配置できるようにして欲しい
- ・ 2 日を 1.5 日くらいに短縮プログラムしてはどうか
- ・ 2日間で、実習に関わることや人にふれて励みになりました。
- ・ 2日間で怒涛の如くカリキュラム作成について学んだが、正直なかなか整理がつかず身になったのか怪しい。ある程度実務実習薬剤師野数が満たされてきたら、もう少し余裕のあるスケジュールが望ましいと思う。また、資格既得者へのフォローアップ研修も期待している。
- ・ 2日間とかは時間を取れない場合も多いと思われるので、もっと短期間のワークショップにした方がいい。
- ・ 2 日間もディスカッションをする必要があるのかと感じた。
- ・ 2 日間内容も濃く、難しい言葉もあって大変でしたが、実習生を受け入れる心構えは出来たように思います。
- ・ 2 日連続でやるのも有益ではあるが、1 週間あけて 2 回など間に熟慮する時間があるのも有益と思う。
- ・ 2 年間の実績を元に ワークショップの内容をかえていったらよいと思う。
- ・ 2年近く前にワークショップに参加したので、記憶がうすれ、アンケートの設問に的確に回答しづらかった。薬局での実務実習は、業務をこなしながらの実習となるため、紙の上で計画したように進めることはできず、その場その場で、臨機応変に対応するしかないように思います。目標の持ち方、それに近づくための方法、評価などによって、学習者に価値ある変化が一つでも多くもたらされるような実習ができるよう心がけて行いました。
- ・ 2年前の研修で、今回の実習生受け入れとの関連がうまく回答できずすみません。
- ・ ③に限らず医療関係者の自由参加のワークショップがあってもよいと思った
- ・ 3 年くらい前に参加したのですが、そのときには大変でしたが理解できたと思っていたことでも、年月が経つと、全くといっていいほど覚えていないことに気づきました。また、実務実習は、とにかく、毎日行っている業務をカリキュラムに当てはめて教えていく、体験させるということで進めるのが、一番負担なく、また濃密なものになると感じます。ですので、WS で学んだことが活かされているかは、内容も定かでないため、よくわかりません。また、日本薬剤師会の「薬学生実務実習指導の手引き」に到達目標なども示してくださっているので、そのまま使っても、WS で学んだことがいきているのかもしれない。
- ・ 3 年近く前のワークショップについて聞かれても、もう覚えていなくて回答にもすごく困りました。
- ・ 3 年前のワークショップなのでかなり忘れた部分が多く、十分な回答ができませんでした。学生が繰り返し実習することで向上するように、指導する側も進化・向上を目指すべきでしょう。ワークショップの内容の変化など、随時お知らせ頂けるとよいと思います。
- ・ 3 年半前にワークショップしたので忘れていた事も多く、実際に今実習生を受け入れて行っていますが、日々このようなやり方でいいのか考えさせられています。また大学間での温度差も感じています。ワークショップで横の繋がりが必要かと思えます。
- ・ 5年生の実務実習がはじまって2年目になりますが、いまだに行っている実習内容が果たして学生にとって有意義な内容なのかどうか模索しています。実務実習の同等性をはかるためにも他施設の指導薬剤師の先生方はどのように指導されているのか？はたまたどの点を重要視されているのか？お話を伺

える機会をもてる場になればと希望します。

- ・ 5年前にワークショップを受けた人間に、今頃アンケートで質問を受けても記憶が定かでない。今とかなり内容が違うし、今は現実に薬局で学生を受け入れているので、ワークショップに参加して、現場で指導することを考えながら、対比し理解できるので、手探りでやっていた、5年前とは違う。今のワークショップを見させていただいたが、わかりやすいし、かなりレベルアップしていると思いました。
- ・ “5 年前のWSの資料を見直して、とても重要な事をおしえて頂いたのに、ほとんど忘れてることに気がきました。
- ・ ときどき資料を見直すことが大切だと反省しています。”
- ・ 6 年の学生たちと同じ目線に立ててできることを学べるので有意義であると思います。
- ・ 6 年制が卒業して変わってゆく薬剤師の業務を指導薬剤師・4 年卒業薬剤師も共有してゆくシステム作りを希望します
- ・ 6 年制の学生に対して、どのようなカリキュラムを与えなければならぬのか、私自身まだ分かりません。理想像に近付けるより、現実問題に対処出来る能力を見るのが有効なのか。学生が求めている実習内容や、実習先で発生している問題点、改善点、反省点等を聞いてみたいと思っています。
- ・ 6 年前に聞いた講演内容など、その詳細については覚えていない。その年に受入のある薬局の指導薬剤師に対しては、年次にワークショップを開催して欲しい。困難であれば、ビデオ講習でもよい。要するに、実習直前型ワークショップが必要と考える。
- ・ H20 年度に受講し、正直覚えていない部分が多々ありました。また、6 年制実習も開始前だったので、現状に合った内容だったかにも疑問はあります。個人的にはワークショップの必要性をあまり感じませんでした。
- ・ MR希望の薬剤師にとって有意義になるような専門的なコース(カリキュラム)があってもいいのかと思う。
- ・ “SGD に至るまでの前説のような講義と実務実習にはそのまま使えるわけではない内容の SGD に 2 日間も拘束されるのでは行っただけがうれしいです。
- ・ 指導薬剤師が受入に不安を抱かないような(自信をもって受入れられるような)内容を望みます。申込方法も薬剤師会に一任だったのも？マーク。知り合いの在籍するいくつかの薬剤師会で選抜方法がすべて違っていたし、同じ薬剤師会に所属する 4 つの薬局の 10 人の薬剤師が申込みつづけたのにとどう一人も参加できなかった。(もちろん 10 人のモチベーションは下がった)ことを聞いている。”
- ・ SGD はいろいろな考え方を持つ方々と意見交換できたことがとても良かった
- ・ SGD をもっと長く取り入れて欲しかった。
- ・ WS において、人との出会い、自分自身の変化の実感、通常業務への前向きな関わり合い、いろいろと刺激をうける素晴らしい場であると思います。
- ・ WS に参加したことが随分と前に感じられ、詳細を思い出せないことも。繰り返し思い出ずシステムなどがあれば良いですね。
- ・ WS に参加したのは3年も前のことで、このアンケートへの回答は容易ではなかったです。漠然とした記憶でしかありません。しかし、指導にあたる上で、WSで学んだ事を全般に具体的に実践できたわけではありませんが、実習の方向性や評価の仕方の参考になったのは確かです。WSの意義は、あると思います。
- ・ WS に参加した指導薬剤師は数年に 1 度で良いので自由参加できるような体制をとって欲しい。
- ・ WS に参加してよりよいカリキュラムを作ることが出来ました。
- ・ WS に参加すると必ず意見交換の場となるので、聞き役に徹していられず、疲れるが、自分のものになる学習方法のため、参加してよかった。
- ・ WS に参加できて、指導薬剤師の責任の大きさが実感でき、自